

いいだ未来デザイン2028戦略計画

【2026(令和8)年度】

長野県飯田市

目 次

いいだ未来デザイン2028後期計画の「年度戦略」について	1
市の人口について	1
戦略の推進について	7
DXの推進について	7
SDGsの推進について	7
1 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる	9
1-① 20地区の基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の自治活動の推進	12
1-② 持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援	12
1-③ 「結い」による移住定住の推進と協働による関係人口の創出	13
1-④ ムトスの精神による市民活動や公益型事業(地域課題解決型事業)の輪を広げる	13
1-⑤ 国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を互いに認め合う地域社会をつくる	14
1-⑥ 市民による文化芸術の創造と生涯にわたってのスポーツの振興	15
1-⑦ 中心市街地の賑わい、歩いて楽しめるまちづくりの推進	16
1-⑧ 地域への関心を高め、効果的な情報発信	17
2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化し安全・安心なまちをつくる	19
2-① 日常の地域自治活動を通じた地域住民の顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化	20
2-② 市民一人一人の防災意識の向上、助け合いによる地域防災力の強化とそれらを支える公助の取組の推進	20
2-③ 飯田市消防力(消防団)整備計画に基づく地域消防力の維持・向上	21
2-④ 犯罪被害防止と消費者トラブルの未然防止	21
2-⑤ 安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化対策と強靱化、生活道路の安全対策をはじめとする交通事故抑止	22
3 飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる	23
3-① 安心してこども・若者が意見表明、話し合いの場に参加することができ、その意見が反映できる仕組みづくり	25
3-② 妊娠、出産、子育てまでの効果的で途切れない相談・支援	26
3-③ 地育力を活用し、地域の自然や文化、地域との関わりにより、健やかで心豊かな育ちを支える	27
3-④ 一人一人が主体的に学ぶ、「児童生徒」が主語になる学びを進める	28
3-⑤ 通いたい・通わせたい学校を目指した「学園構想」の推進	28
3-⑥ 発達特性のあるこどもなど困難を抱えるこどもとその家庭への相談支援や教育環境の構築	29
3-⑦ 若者、子育て家庭への経済的支援	30
3-⑧ こどもが安全・安心に生活できる環境整	31
3-⑨ 地域の高等教育環境の充実	32
4 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる	33
4-① 環境意識を高め、行動変容へつなげる「うごくる。」の充実	34
4-② 新たなリサイクルの研究などによる3Rのさらなる推進と資源循環の研究	34
4-③ 省エネルギーの促進と地域産再生可能エネルギーの創出、利活用の推進	35
4-④ 生物多様性と自然環境の保全推進	35
4-⑤ デジタル技術を活用した3R啓発とエネルギーなどの見える化の推進	36

5	誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる	37
5-①	地域産業を支える担い手・企業人材の確保・定着及び育成と多様な働き方・労働力補完に対する支援	39
5-②	地域産業の高付加価値化・ブランド化と環境分野をはじめとする新産業への挑戦を支援	40
5-③	多様な主体が参画した取組によるサステナブルツーリズムの推進	41
5-④	地域内経済循環の推進	42
5-⑤	企業誘致、オフィス誘致の推進	43
6	誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる	45
6-①	地域福祉の推進	46
6-②	福祉まるごと相談窓口からつながる支援の強化	46
6-③	障がい福祉の推進	47
6-④	全世代に向けた健康づくり	48
6-⑤	介護予防の意識醸成	49
6-⑥	地域における高齢者の支援体制の整備	49
6-⑦	地域医療への支援	50
6-⑧	介護人材確保に向けた支援	50
7	リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる	51
7-①	リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し	52
7-②	広域的道路ネットワークの強化及び拠点間道路ネットワークの整備推進	52
7-③	リニア駅前広場の一部供用に向けた整備推進	53
7-④	リニア・三遠南信道に対する機運醸成を図るための市民への情報発信	53
7-⑤	持続可能な地域公共交通の構築と次世代モビリティやリニア二次交通の検討	53

いいだ未来デザイン 2028 後期計画の「年度戦略」について

年度戦略は、後期計画4年間(2025(令和7)年度から 2028(令和10)年度まで)の基本的方向に基づき、戦略的に取り組む7の基本目標それぞれの具体的な取組です。また、取組の進捗や社会情勢に随時対応し有効性を高めるため、戦略計画は年度ごとに見直していきます。

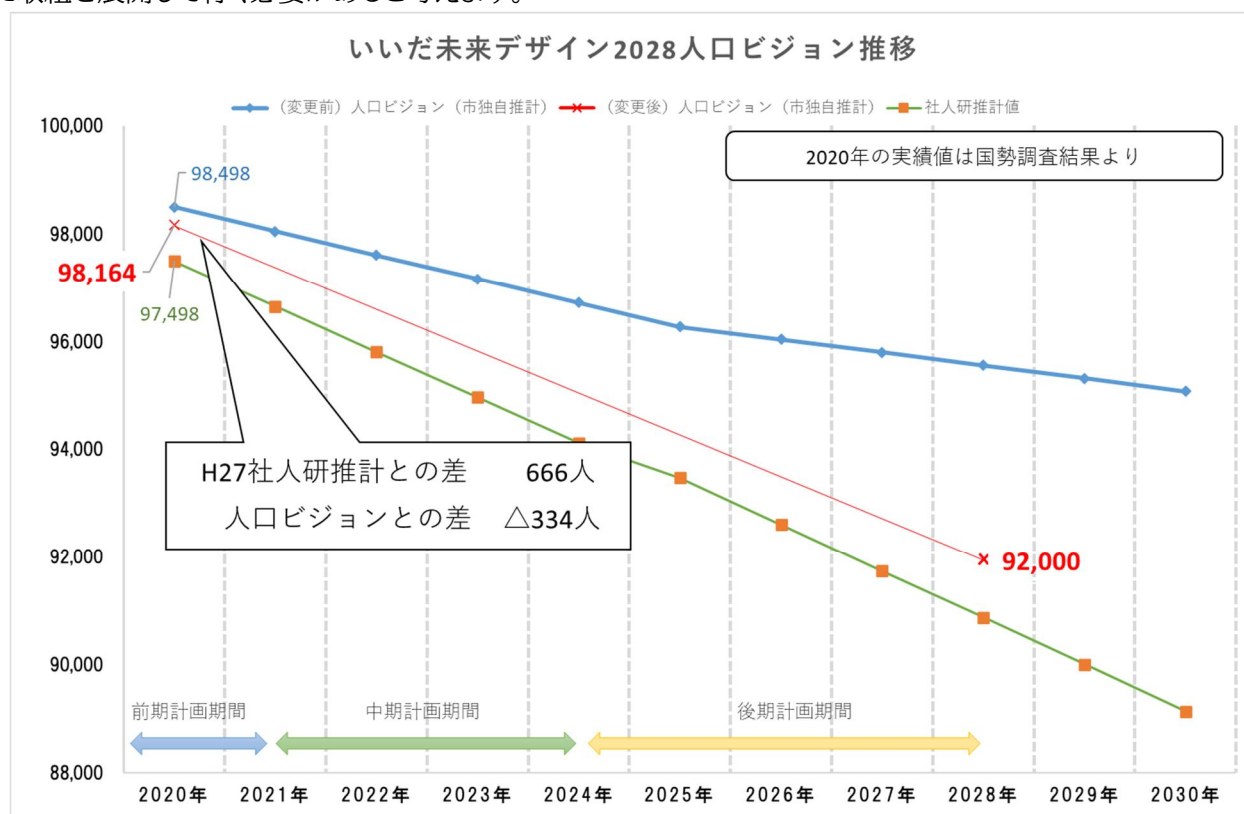
なお、後期計画においては、中期計画に引き続いて国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく総合戦略を一体化した構造とし、地域課題となっている人口減少及び地域経済の縮小を克服するための施策を位置付け、地方創生を目指した取組を一層強化していきます。

市の人口について

飯田市の人口ビジョンでは、2028 年の定住人口を約 92,000 人、休日滞在人口率をその 1.10 倍とし交流人口の増加を目指すことを掲げています。この目標を達成するため、エス・バードでの地域産業の高付加価値化や人材育成機能の強化、サテライトオフィスの誘致など人材の確保と働きやすい環境づくりを推進したほか、移住希望者へのオーダーメイド型の移住支援体制の充実、オンラインでの移住セミナーの実施などUIターン者の増加に向け取り組むとともに、関係人口創出・拡大を目指す取組等を行ってきました。

また、こどもたちの学びの充実に向けた小中連携・一貫教育の推進とICT機器の活用、校内中間教室の充実や民間施設との連携強化、人形劇を通じた国際交流なども実施しました。公民館機能に加えて図書館や平和教育機能を持つ「ムトスぷらざ」では活動・交流の輪が広がっています。こどもを産み育てたい希望に寄り添った妊娠期から子育て期への途切れない支援体制の整備、子育て・保育環境の改善のほか、市民に寄り添う各種の保健福祉施策などを推進してきました。さらに、リニア・三遠南信自動車道の開通を見据え、駅周辺整備、二次交通の構築、良好な生活環境の維持にも力を入れました。

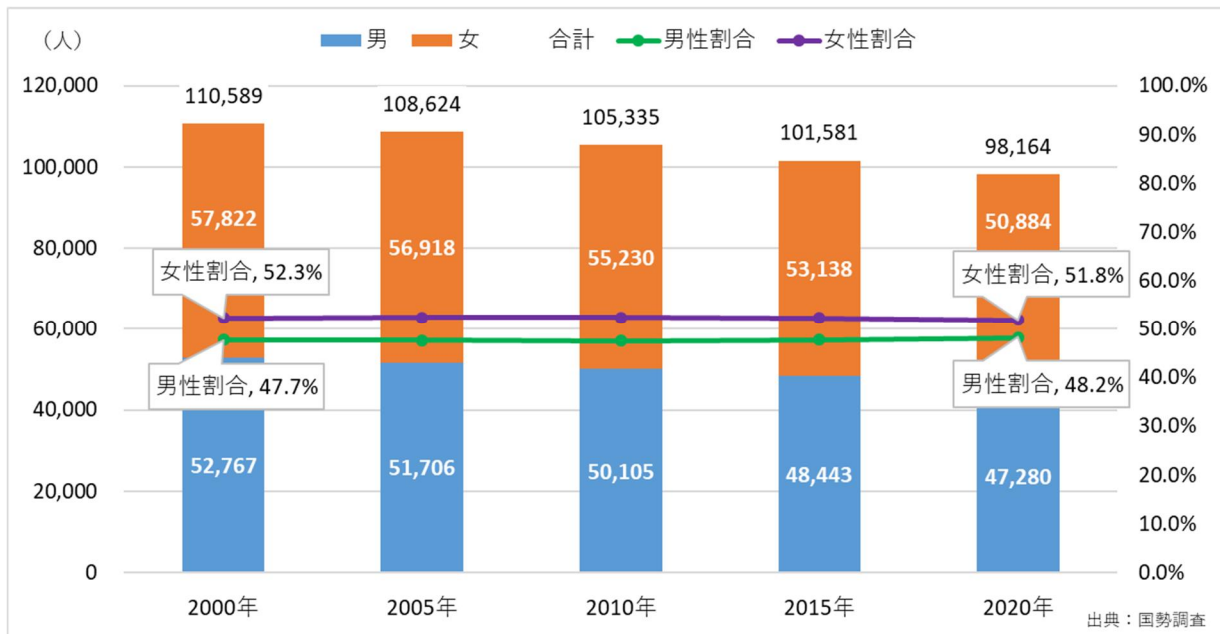
飯田市の総人口は、2020(令和2)年の国勢調査で 98,164 人となり、国立社会保障・人口問題研究所の推計と比較して 666 人上回っていますが、人口ビジョンで展望した人口と比較して 334 人少ない状況となっています。日本全体の人口が減少し増加に転じることは極めて難しい状況にあるなかで、当地域の合計特殊出生率は、国や県に比して高い水準ではあるものの、若年女性の転出超過が継続している点などを考慮すると、当市の人口減少の傾向は続くものと推察しており、後期計画においても、引き続き人口減少の緩和に向けた取組を展開して行く必要があると考えます。



1 人口推移

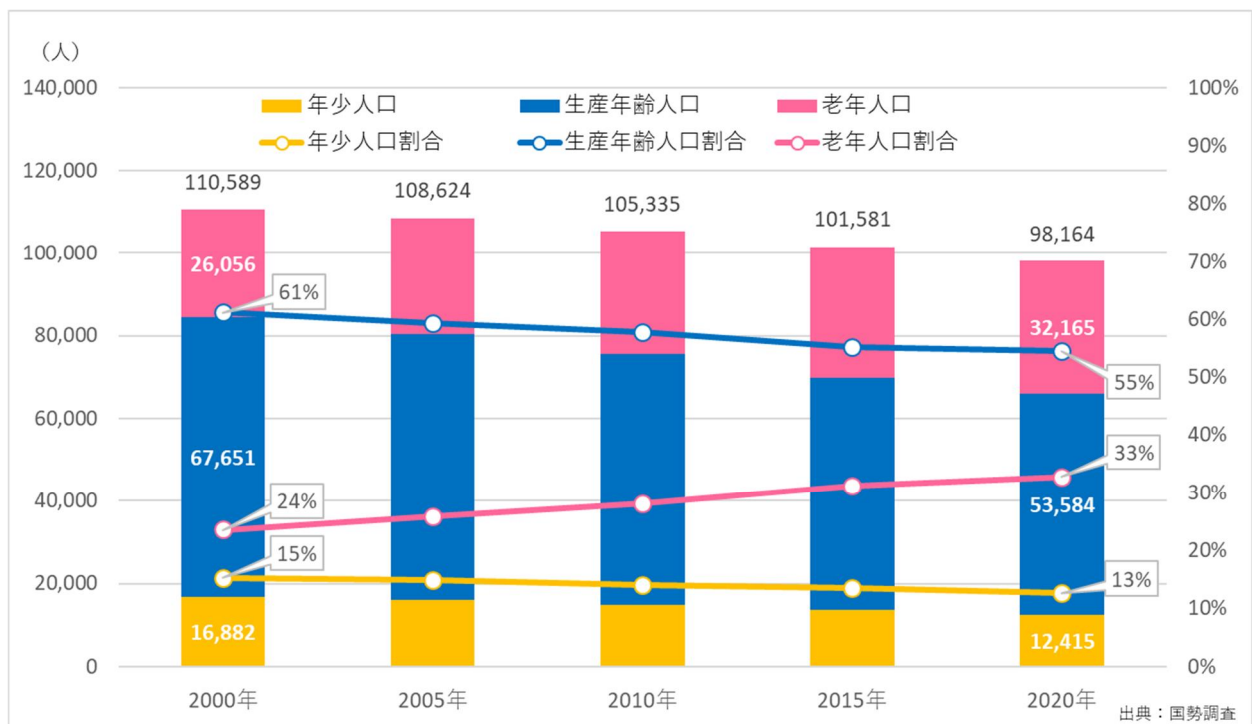
(1) 総人口

飯田市の人口は、2000 年の国勢調査を境に減少に転じ、2020(令和2)年の国勢調査において 10 万人を割りました。男女比に大きな変化はなく、女性が 50%強、男性が 50%弱で推移しています。



(2) 3区分人口

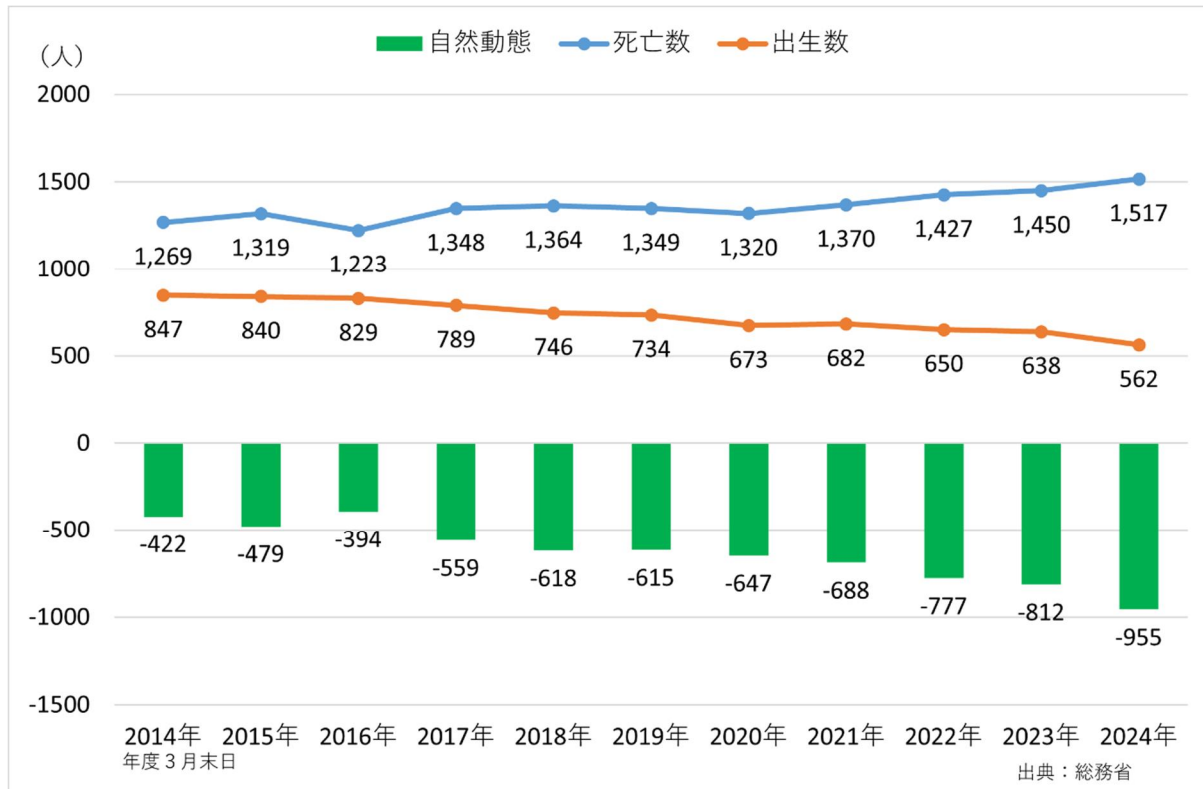
年少人口(0～15 歳)、生産年齢人口(16～64 歳)、老齢人口(65 歳～)の3区分人口については、2000 年からの 20 年間で老齢人口割合が9%増加(+6,109 人)し、生産年齢人口割合は6%減少(△14,067 人)、年少人口割合は2%減少(△4,467 人)しています。



2 自然動態について

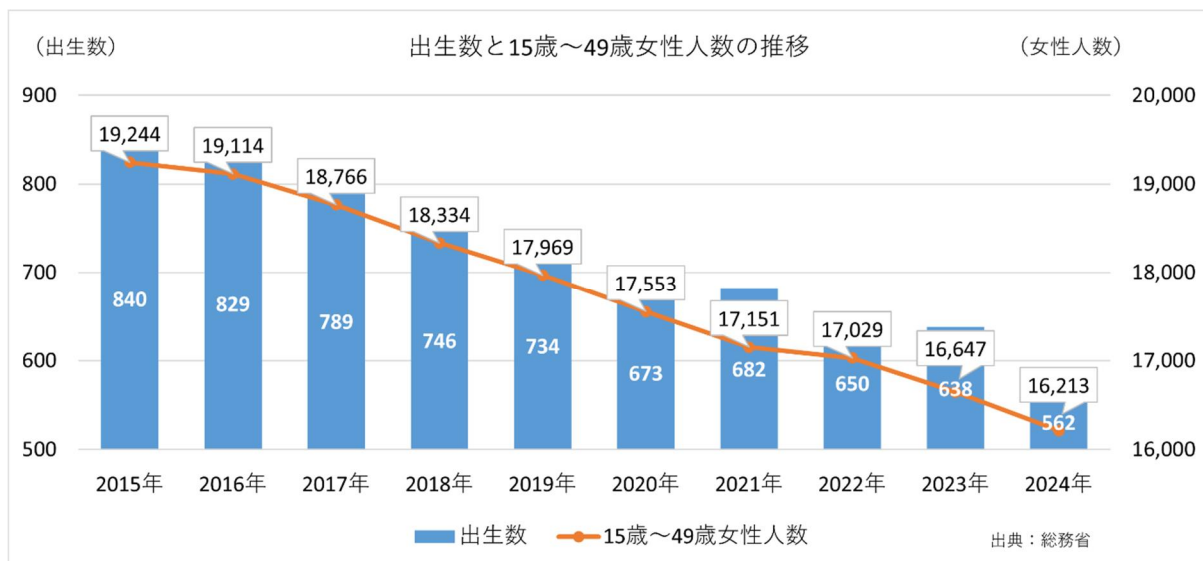
(1) 死亡数と出生数

死亡数の増加と出生数の減少により、人口の自然減(死亡数が出生数を上回る状態)が進んでいます。2014(平成26)年からの10年間で死亡数は248人増加し、出生数は285人減少しており、死亡数の増加よりも出生数の減少が大きく、出生数の減少の方が自然減への影響が多いといえます。



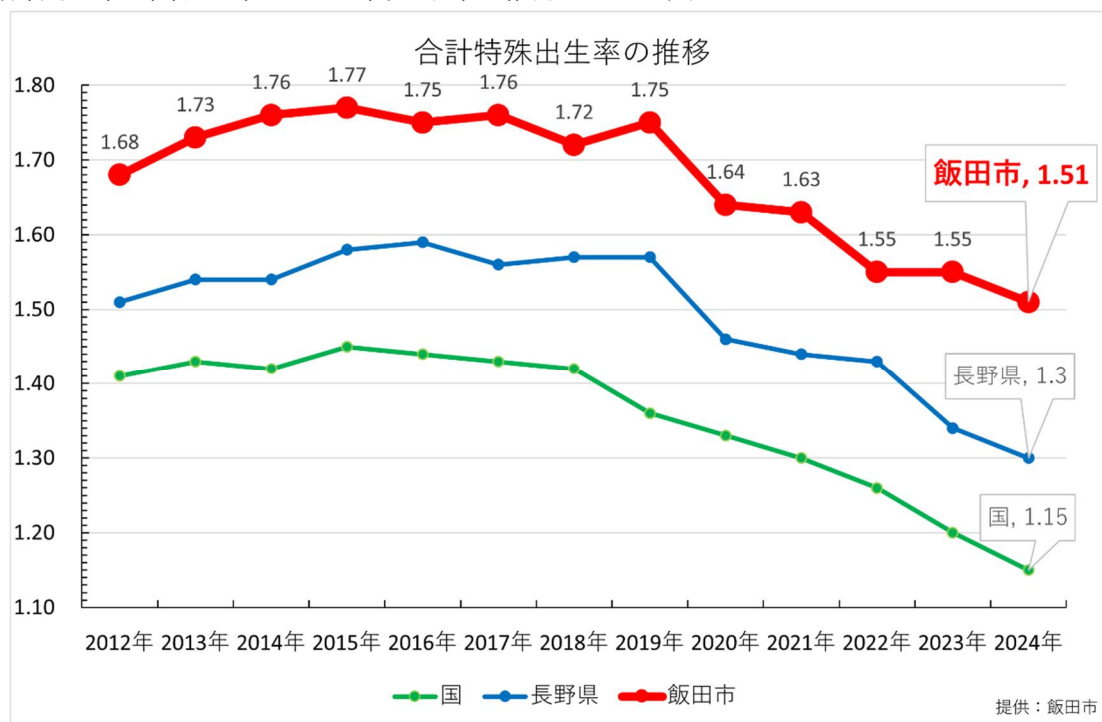
(2) 15歳～49歳女性人数

合計特殊出生率の算出に用いる15歳～49歳の女性の人数は減少が続いており、それに伴い出生数も減少しています。



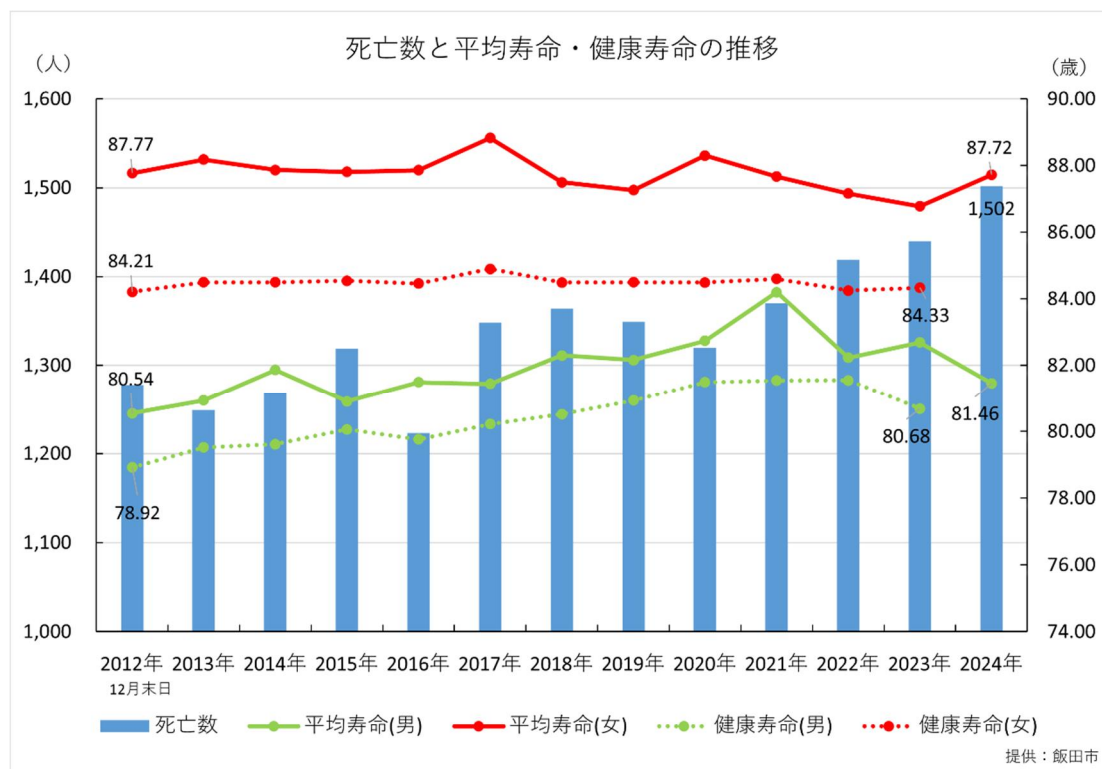
(3) 合計特殊出生率

近年、全国的に出生数の減少が続いており、飯田市においても出生数は減少しているものの、合計特殊出生率は国及び県に比べて高い水準を維持しています。



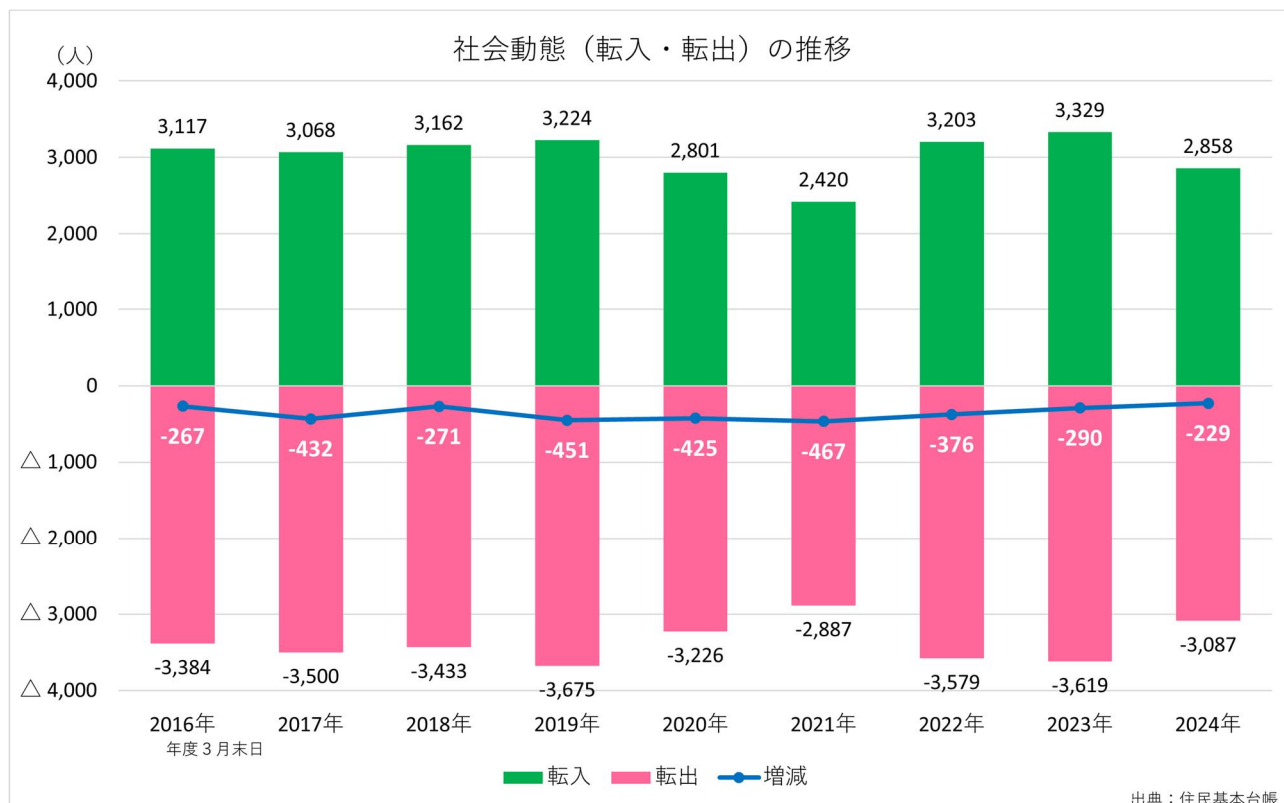
(4) 死亡数と平均寿命・健康寿命

2012 年以降、女性は平均寿命が 88 歳前後、健康寿命が 84 歳超で推移しているのに対し、男性は 2024 年の平均寿命が 81.46 歳(対 2012 年比 0.92 歳延伸)、2023 年の健康寿命が 80.68 歳(対 2012 年比 1.76 歳延伸)と、平均寿命・健康寿命ともに延伸しています。



3 社会動態について

2024(令和6)年は、2020(令和2)年に比して、転入数、転出数ともに増加し、転入者 2,858 人に対し、転出者 3,087 人となり、229 人の転出超過(社会減)となっています。



4 地区別人口について

2010(平成 22)年の時点で人口が 5,000 人を超える地区の人口推移は、ほぼ横ばいか微増減しています。一方、5,000 人を下回る地区の多くが減少傾向にあります。

	2010年	2015年	2020年	5 年前 (2015年) からの人口増減率	10年前 (2010年) からの人口増減率
橋 北	3,404	3,173	2,860	90%	84%
橋 南	3,024	2,723	2,489	91%	82%
羽 場	5,349	4,966	4,889	98%	91%
丸 山	3,684	3,505	3,260	93%	88%
東 野	3,283	3,056	2,866	94%	87%
座光寺	4,586	4,382	4,196	96%	91%
松 尾	12,982	13,035	13,061	100%	101%
下久堅	3,118	2,946	2,651	90%	85%
上久堅	1,481	1,318	1,174	89%	79%
千 代	1,822	1,693	1,526	90%	84%
龍 江	2,998	2,831	2,600	92%	87%
竜 丘	6,803	6,724	6,559	98%	96%
川 路	1,978	1,921	1,937	101%	98%
三 穂	1,476	1,386	1,262	91%	86%
山 本	5,057	4,756	4,478	94%	89%
伊賀良	14,322	14,219	14,138	99%	99%
鼎	13,557	13,168	13,135	100%	97%
上 郷	14,139	13,891	13,534	97%	96%
上 村	507	413	351	85%	69%
南信濃	1,765	1,475	1,198	81%	68%
飯田市合計	105,335	101,581	98,164	95%	93%

出典：国勢調査

戦略の推進について

1 推進体制

- (1) 住民組織、産業界、高等教育機関、金融機関、労働団体、国・県等の行政機関及び各種団体等の多様な主体と連携しながら、取組を進めます。
- (2) 全庁体制で施策を多様な主体との協働により横断的かつ総合的に推進し、地区や分野別懇談会など市民からの意見も随時反映させながら推進していきます。

2 効果の検証

- (1) 総合戦略としての成果を客観的かつ定量的に測るため、重要業績評価指標を設定し、進行管理の中で合わせて評価を行います。
- (2) 外部評価を実施し、市民や議会、関係者からの意見を取り入れることで、より効果の高い取組へ改善していくPDCAサイクルを実施します。

DXの推進について

近年、生成AIの登場やIoT、ビッグデータの活用などのデジタル技術は、加速度的に進展しており、私たちの生活に深く浸透し大きな変化をもたらしています。特に、スマートフォンやインターネットの普及・利用は、コミュニケーションツールとしての機能だけでなく、様々な手続の窓口機能や金融決済の機能を担うなど日常生活に欠かせない社会インフラとなっており、デジタル技術の活用を前提とした社会への変革が始まっています。一方で、人口減少、少子高齢化により、労働生産力や地域の担い手の減少、経済規模の縮小など社会構造的な課題が顕著なものとなってきています。また、自治体においては、限られた職員数や財源の中で社会環境の変化に伴う市民ニーズに対応し、効率的で質の高い持続可能な行政サービスの提供が求められています。

こうした地域社会の状況を踏まえ、DXの推進は、行政サービスの向上や市民生活のあらゆる分野に共通する取組であることから、各基本目標においてデジタル技術を活用した様々な課題解決、新たな価値やサービスを創出する戦略を組み立てるとともに、行政事務DX推進方針や昨年度策定した「地域DX推進ロードマップ」に基づいて全体の進行管理を行い、誰もがDXによる利便性や恩恵が受けられる持続可能な社会の構築に取り組みます。

SDGsの推進について

後期計画の策定に際しては、持続可能な社会を構築していくために大切にすべきことを、SDGsの考え方をベースとして、市民会議での協議を重ね、基本目標を策定する際に共通して持つべき持続可能な社会を創造するために大切にすべき4つの視点を定めました。

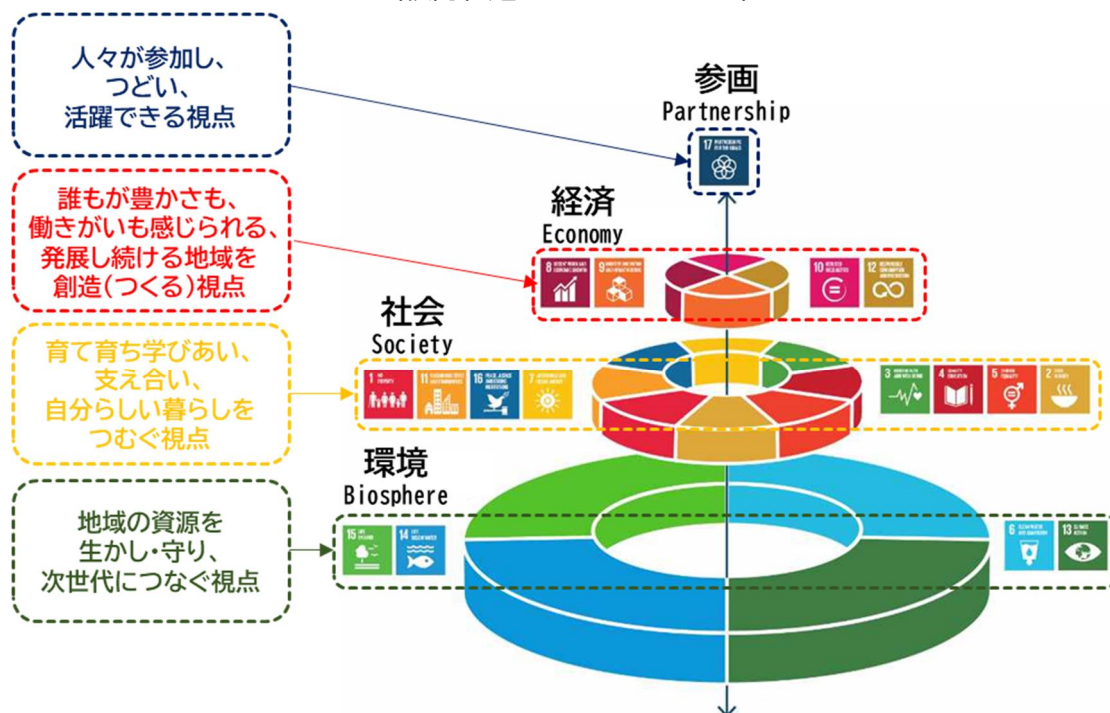
この4つの視点は、SDGsを構成する環境(Biosphere)・社会(Society)・経済(Economy)・参画(Partnership)の4つの要素及び考え方を、飯田市らしい言葉にローカライズしたものとして位置づけることができます。

また、SDGsの17の目標は、「貧困をなくそう」からはじまり「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「住み続けられるまちづくりを」など、市民生活とも関わりが深い目標であり、市民や事業者、行政との協働に向けた体制づくり、あるいは、情報や課題の共有手段として活用していくことが可能なものです。さらに、17の目標は相互に関連し、持続可能な社会の創造につながることから、SDGsを、市の各担当課等で実施している施策・事業間の横断的連携を図ったり、施策・事業の目標の共有に活用することが可能なものです。

後期計画においても、中期計画におけるSDGsの推進の考え方を受け継ぎ、国際目標であるSDGsを、市民・事業者・行政などそれぞれが、グローバルな問題を地域の視点から捉え、あるいは、地域の問題を

グローバルな視点から捉える機会となること、そしてSDGsを共通言語として様々な立場の人が連携し、様々な分野で持続可能なまちづくりを推進していくことを目指します。

持続可能な社会を創造するための4つの視点とSDGsのウェディングケーキモデル
(検討経過におけるイメージ)



※留意事項

SDGsのウェディングケーキモデルの考え方を飯田市版にローカライズしたため、視点に含まれる主な内容で判断しており、4つの視点の内容とSDGsの内容とが完全に一致するものではありません。

出典：The SDGs wedding cake, Stockholm Resilience Center

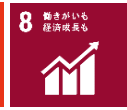
いいだ未来デザイン2028後期計画に定める基本目標とSDGsの連携

基本目標 1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる	1 貧困をなくそう, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 8 働きがいも 経済成長も, 10 人や国の不平等をなくそう, 11 住み続けられるまちづくりを, 16 平和と公正をすべての人に, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 2	人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 3 すべての人に健康と福祉を, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 6 安全な水とトイレを世界中に, 11 住み続けられるまちづくりを, 13 気候変動に具体的な対策を, 16 平和と公正をすべての人に, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 3	ここ飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 3 すべての人に健康と福祉を, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 8 働きがいも 経済成長も, 11 住み続けられるまちづくりを, 13 気候変動に具体的な対策を, 16 平和と公正をすべての人に
基本目標 4	自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる	4 質の高い教育をみんなに, 6 安全な水とトイレを世界中に, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 9 産業と資源消費の効率化をすすめる, 11 住み続けられるまちづくりを, 12 つくばない、つかう、またげる, 13 気候変動に具体的な対策を, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 5	誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 8 働きがいも 経済成長も, 9 産業と資源消費の効率化をすすめる, 10 人や国の不平等をなくそう, 12 つくばない、つかう、またげる, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 6	誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 3 すべての人に健康と福祉を, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 8 働きがいも 経済成長も, 11 住み続けられるまちづくりを, 16 平和と公正をすべての人に
基本目標 7	リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる	5 ジェンダー平等を實現しよう, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 8 働きがいも 経済成長も, 9 産業と資源消費の効率化をすすめる, 11 住み続けられるまちづくりを, 13 気候変動に具体的な対策を, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートナリシップで目標を達成しよう

基本目標 1

市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 20地区の基本構想・基本計画の実現に向けて、地域のつながりを基盤にした持続可能なまちづくりの取組を支援します。
- ◆ 地域の問題や関心事について、学習活動や実践活動など住民が主体的に課題解決に挑戦できる環境を整備し、地域を支える多様な人材の育成につなげます。
- ◆ 未来の担い手である子どもたちにとって「将来も住み続けたいまち」であるため、地域全体で子どもを育む様々な取組を行います。
- ◆ 20地区がそれぞれの多様な地域資源を活用し、魅力ある地域づくりに取り組むことで、関係人口の創出・拡大から移住定住を目指す「20地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進めます。
- ◆ 移住定住の推進に向けて、まちづくりの原動力となる若者に「選ばれる地域」となるための様々な取組を全市的に展開します。
- ◆ ムトスの精神による市民活動の輪を広げ、市民活動団体やNPO法人等による市民や地域が元気になる取組を支援します。
- ◆ 国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を「豊かさ」として生かし、共に支え合い、共に生きるために、お互いに理解し合う場や、多様な活動を支援します。
- ◆ 伝統文化や人形劇など文化の継承と発展、新たな文化を創造する集いの場としての文化会館の整備に向けた取組、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。
- ◆ 歴史と魅力ある施設や空間を生かし、多様な主体と連携・協働しながら、りんご並木を軸としたまちの賑わいづくり、歩いて楽しめるまちなかづくりを進めます。
- ◆ 市民や事業者と共に地域資源の価値を磨き、また、新たな魅力を創造し、共有・発信することにより共感を広げ、市のブランド化や認知度の向上を図ります。
- ◆ 20地区が行う地域振興等に係る取組に関し、デジタル技術を効果的に活用し、関係人口の創出・拡大を図ります。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和5年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① これからも飯田市に住みたいと思う市民の割合（％）	85.9 （令和5年）	85.9 （令和6年）			87.0
② 住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合（％）	75.4 （令和5年）	75.0 （令和6年）			基準値以上
③ 飯田の「ムトス」という言葉を知っている市民の割合（％）	81.7 （令和5年）	83.0 （令和6年）			86.0
④ 後期期間中にまちづくり委員会の組織・事業の見直しを行った地区数（地区）	20	16			20 （累計）
⑤ 自治活動組織への加入率（％）	67.7 （令和5年）	65.8 （令和6年）			69.0
⑥ 後期期間中に組合加入促進コーディネーター活動により組合加入に至った件数（件）	190 （令和5年）	163 （令和6年）			800 （累計）
⑦ 【小中学生】 地域や社会を良くするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合（％） 【高校生】 地域（社会）をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思う生徒の割合（％）	小学生 86.0 中学生 77.5 高校生 58.7	小学生 78.7 中学生 74.6 高校生 65.4			基準値以上
⑧ 【小中学生】 人の役にたつ人間になりたいと思う児童生徒の割合（％） 【高校生】 地域（社会）と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来について考えることがある生徒の割合（％）	小学生 96.9 中学生 93.9 高校生 57.7	小学生 95.7 中学生 96.5 高校生 55.7			【小中学生】 基準値を維持 【高校生】 基準値以上
⑨ 新規移住相談件数（件）	263 （令和5年）	386 （令和7年12月末）			280
⑩ U I ターン移住者数（人）	127 （令和5年）	125 （令和7年12月末）			140
⑪ 20地区応援隊寄附件数（件）	55 （令和5年）	34 （令和6年）			60
⑫ 市民活動・地域活動に参加している市民の割合（％）	69.0 （令和5年）	64.4 （令和6年）			75.0
⑬ ムトス助成事業 支援件数（件）	42 （令和5年）	34 （令和6年）			45
⑭ 他地域（外国人を含む）からの人を受け入れる市民の割合（％）	85.0 （令和5年）	85.9 （令和6年）			92.0
⑮ 審議会委員等 女性登用者数割合（％） （第7次飯田市男女共同参画計画で令和9年度に目標とした数値）	30.8 （令和5年）	30.5 （令和6年）			33.0 （令和9年）

指標（単位） 把握方法	基準値 (令和6年)	進捗状況			目標値 (令和10年)
		令和7年	令和8年	令和9年	
⑯ 文化活動（芸術の鑑賞など）を 年1回以上行っている人の割合 (%)	59.1 (令和5年)	60.4 (令和6年)			65.0
⑰ 週1回以上スポーツに親しむ成 人の割合 (%)	53.9 (長野県61.2) (令和5年)	50.9 (令和6年)			長野県値以上
⑱ 運動・スポーツをする以外に、 観たり、大会運営等に関わって いる人の割合 (%)	54.4 (令和5年)	52.0 (令和6年)			基準値を維持
⑲ 歩行者・自転車通行量(人)	5,950	5,328			6,350
⑳ 市営駐車場利用台数(台)	371,597 (令和5年)	380,384 (令和6年)			400,000
㉑ 飯田市ブランド推進係 Xフォロ ワー数(フォロワー)	4,625 (令和5年)	5,699 (令和8年1 月20日)			7,000
㉒ 飯田プロモーションインスタグ ラムフォロワー数(フォロワー)	931	2,588 (令和8年1 月20日)			4,000

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	20地区の基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の自治活動の推進
(1)	20地区の基本構想・基本計画の実現に向けて、住民や関係団体等が連携した協働のまちづくりを進めていけるよう自治振興センター等を中心に支援していくとともに、好事例の横展開や課題解決策の共有等により、地域主体の取組を支援します。
(2)	時代の変化に対応していくため、各地区が行う自治活動組織の改革改善、事業見直しの取組を支援し、顔の見える関係づくりや幅広い市民の参加機会の創出などに取り組みます。併せて、自治活動組織加入促進の取組の支援と行政協力業務の見直しによる負担軽減に取り組みます。 SNS等を活用し市民主体のまちづくりの意識醸成や、地域情報の発信により地域活動等への参加を促します。
(3)	中山間地域が元気であり続けるため、農村起業家の育成や地域おこし協力隊による活動の支援、空き家等を活用した住まいの確保などの取組を地域と連携して進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	地域自治活動支援事業	地域自治振興課	116,753	基本目標2小戦略①
(2)	環境衛生事業	環境課	7,237	
(2)	地域環境美化推進事業	環境課	28,669	
(3)	中山間地域振興事業	結いターン移住定住推進課	71,426	
(3)	遠山郷振興事業	結いターン移住定住推進課	12,308	
		計	236,393	

小戦略 ②	持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援
(1)	住民が地域の自然、歴史、文化などを知り理解を深める学習や地域の課題意識や関心事に応える学習など一人ひとりの関わりや願いを起点とし、体験や人とのつながりにより探究的に学びを深めていく「ムトスの学び」による実践を支援します。
(2)	「みらい創造教育推進協議会」や庁内横断的な連携会議を通じて、こどもや若者の生きる力を育み未来の地域の担い手となる人づくりの大切さを共有するとともに、地育力を活用した「みらい創造教育」に取り組みます。
(3)	田中芳男没後110周年を記念し特別展を開催することによって、地域の先人の功績や生き方を知り、自ら社会に役立とうとする心を育みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	45,166	
(1)	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	2,802	
(1)	多様な学習交流支援事業	公民館	13,310	基本目標1小戦略⑤ 基本目標2小戦略① 基本目標3小戦略③
(2)	高校生等次世代育成事業	公民館	10,877	基本目標3小戦略③
(2)	みらい創造教育推進事業	教育センター	5,100	基本目標3小戦略③⑤
(2)	社会教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	15,237	基本目標3小戦略③
(3)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	17,328	
		計	109,820	

小戦略 ③	「結い」による移住定住の推進と協働による関係人口の創出			
(1)	移住希望者に対面やオンラインで地域の魅力や仕事・住まい・暮らしに関する情報を提供し、一人一人に寄り添った相談支援を行います。相談支援の中で人と人、人と地域をつなぎ、当地域との関わりが深化することにより移住につなげます。			
(2)	当地域への移住を検討する人が、地域との関係づくりや移住後の生活をイメージできるように、事業者及び住民と連携し、「仕事を知り、人に触れ、地域に関わる」結いターンシップ事業を実施します。			
(3)	地域住民やまちづくり委員会、宅建業者等と連携し、空き家を活用するなど移住者の住まいの確保を支援します。			
(4)	移住コンシェルジュや地域住民と連携し、全市的に移住者の受入れと定住に向け、日々の暮らしの相談や住まいの紹介などの支援を行います。			
(5)	各地区で取り組む20地区田舎へ還ろう戦略について、地域の特長を生かした人口安定化策の検討、策定の支援を行うとともに、具体的な取組を進めるため、集落支援員制度の導入と合わせ、行政と地域が連携してマッチングシステム、SNS等による情報発信力を強化し、地域の人との出会いや関係性を深める取組を進めます。			
(6)	品川区や渋谷区などの都市圏の住民や若者と飯田市民との都市間交流を進め、地域との関係を深めて、地域課題の解決に向けた取組を実施することにより関係人口の創出につなげます。			
(7)	「平日は都市部、週末は飯田市で過ごす」など多様なライフスタイルを実現する二地域居住を推進し、選ばれる地域を目指します。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3) (4)(5)(6)	移住定住推進事業	結いターン移住定住推進課	35,931	
(3)	総合的な空き家対策事業	結いターン移住定住推進課	14,278	
(5)(6)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	地域自治振興課	12,589	
(6)(7)	観光誘客推進事業	ツーリズム振興室	56,891	基本目標5 小戦略③
		計	119,689	

小戦略 ④	ムトスの精神による市民活動や公益型事業(地域課題解決型事業)の輪を広げる			
(1)	市民が地域を自らより良くするために行う市民活動、地域や生活課題に密着した起業、NPO法人等の活動を広げるため、ムトスぷらざを活動支援の拠点として、必要な情報の収集や発信、相談対応、研修会の開催などを実施します。			
(2)	市民活動や公益型事業等を促進するため、担い手となる人材を発掘・育成するとともに、関係機関等と連携し、地域全体で活動を支える体制づくりを進めます。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	市民協働推進事業	共生・協働推進課	15,771	基本目標1 小戦略⑤
(1)(2)	多様性社会推進事業	共生・協働推進課	11,488	基本目標1 小戦略⑤ 基本目標3 小戦略②
		計	27,259	

小戦略 ⑤	国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を互いに認め合う地域社会をつくる
(1)	性別による固定的な役割分担意識の解消に向けて、若い世代を対象に、男女が共に助け合う重要性や飯田ならではの暮らし、子育て環境を学ぶライフデザインセミナーを行います。 また、市民を対象に、男女共同参画社会に向けた啓発を行います。
(2)	企業等で働く女性が、日常生活の多様な経験も含めて自身のキャリアとして認識し、生きがいをもって働けることができるように、学びや交流の場をつくります。
(3)	企業等で働く女性が男女の格差なく能力を発揮して働き続けられるよう、働く女性のニーズなどを踏まえて、企業等に対して人材定着に関する情報提供やセミナーの開催などの必要な支援を行います。
(4)	女性の活躍促進のため、公益型事業（地域課題解決型事業）などの起業を志向する女性を対象に、学びと交流の場の提供や女性団体等への活動支援を行います。
(5)	多様な世代が行う地域活動の支援に向けて、各活動の情報収集と発信を行うとともに、協働が生まれる交流の場づくりや活動の継続に向けた相談対応などを行います。
(6)	世代、国籍、障がいの有無等の違いをお互いに認め合い、共に支え生きる共生社会の理解を深める学習を支援します。また、差別やハラスメントのない社会を目指し、必要な研修を行うほか、県、人権擁護委員や関係機関が行う人権学習等への協力をを行います。
(7)	多文化共生社会を目指し、外国人住民と近隣住民との相互理解に向けて、日常生活で身近にできる支援や交流、協働活動を促す働きかけを行います。また、外国人住民が安心して日常生活が送れるよう日本語学習の支援や外国人を雇用する企業に対し、必要に応じて情報提供を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)	多様性社会推進事業	共生・協働推進課	11,488	基本目標1 小戦略④ 基本目標3 小戦略②
(5)	市民協働推進事業	共生・協働推進課	15,771	基本目標1 小戦略④
(1)	地域子育て支援事業	こども課	24,110	基本目標3 小戦略①②⑦ 基本目標6 小戦略②
(1)	乳幼児保健事業	保健課	21,761	基本目標3 小戦略②
(3)	雇用対策事業	産業振興課	19,741	基本目標5 小戦略①
(3)	中小企業金融対策事業	産業振興課	1,541,819	基本目標5 小戦略①
(7)	多様な学習交流支援事業	公民館	13,310	基本目標1 小戦略② 基本目標2 小戦略① 基本目標3 小戦略③
		計	1,648,000	

小戦略

⑥

市民による文化芸術の創造と生涯にわたってのスポーツの振興

- (1) 市民とともに文化を育み、「みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば」の実現を目指すという基本理念に基づいた交流事業、鑑賞事業、創造事業、普及事業、育成事業を推進し、その拠点となる飯田文化会館の長寿命化を行います。
- (2) いいだ人形劇フェスタをはじめとして、保育園や小学校での人形劇の巡回公演、学校人形劇への人形製作や演技指導、伝統人形浄瑠璃の保存や継承のための活動への支援、人形劇文化活動についての情報発信など市民の関わりが活発になるよう支援します。
- (3) オーケストラと友に音楽祭や伊那谷文化芸術祭など多様な舞台芸術を鑑賞できる機会をつくるとともに、市民が取り組む舞台芸術の創造活動や小中学校で行う舞台芸術鑑賞事業を支援します。
- (4) 多くの市民がスポーツに触れる機会を提供するとともに、スポーツ習慣の定着に取り組みます。また、2028信州やまなみ国民スポーツ大会開催に向けた機運醸成と準備を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	文化会館等管理運営事業	文化会館	454,311	
(1)(2)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	52,430	
(1)(3)	文化会館文化芸術事業	文化会館	20,749	
(1)	文化施設整備事業	新文化会館整備室	1,584	
(4)	市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課	7,572	
(4)	競技スポーツ振興支援事業	生涯学習・スポーツ課	10,389	
(4)	2028国民スポーツ大会開催準備事業	生涯学習・スポーツ課	11,475	
		計	558,510	

小戦略

⑦

中心市街地の賑わい、歩いて楽しめるまちづくりの推進

- 中心市街地の賑わい、歩いて楽しめるまちづくりを多様な主体と連携・協働して取り組むとともに、商業者を応援する補助制度を拡充し、支援します。また、中心市街地活性化基本計画の取組成果や課題を整理し、リニア時代の中心拠点に向けたまちづくりに取り組みます。
- (1)
- (2) 新たに設置される南信運転免許センターと動物園から桜並木へと続く緑の空間を結び、中心市街地全体の求心力と回遊性の創出を生み出す整備を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	りんご並木活性化事業	商業観光課	4,961	
(1)	中心市街地活性化推進事業	商業観光課	21,526	
(1)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	43,172	基本目標5小戦略④ 基本目標6小戦略④⑤
(1)	にぎわい創出店舗活用事業	商業観光課	6,434	基本目標5小戦略④
(2)	公園整備事業	維持管理課	79,458	基本目標2小戦略⑤ 基本目標3小戦略⑧
(2)	飯田動物園管理運営事業	維持管理課	72,813	基本目標3小戦略⑧
(2)	道路ネットワーク整備事業	土木課	745,018	基本目標7小戦略②
(2)	思いきり遊ぶ親子交流施設整備事業	こども課	1,753	基本目標3小戦略⑧
		計	975,135	

小戦略 ⑧ 地域への関心を高め、効果的な情報発信

- (1) 市民が地域に誇りと愛着を持てるよう、市民自らが飯田の魅力を発見し、発信することで多くの市民と共有し共感を生む取組を推進するとともに、PR動画やプロモーションブックを制作し、地域内外に発信します。また、飯田焼肉の更なるブランド化に向けて、関係団体と連携した事業に取り組みます。
- (2) 市の取組や魅力のPRとともに、ふるさと納税返礼品の新たな開拓や開発支援による充実と安定した供給、企業版ふるさと納税の拡充に向けた取組の検討を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	I I D Aブランド推進事業	広報ブランド推進課	32,274	
(2)	ふるさと飯田応援隊募集事業	広報ブランド推進課	353,077	
		計	385,351	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
① (3)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	
② (1)	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	
② (1)	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	
② (2)	社会教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	
③ (1)	移住定住推進事業	結いターン移住定住推進課	
③ (5)	20地区田舎へ還ろう戦略事業	地域自治振興課	

基本目標 2

人がつながり助け合い、社会基盤を強化して
安全・安心なまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 安全・安心な暮らしの実現に向けて、人と人とのつながりを広めて「地域の力」を高めていくとともに、地域のことを地域で考える主体的なまちづくりを支援します。
- ◆ 「自助」の大切さを市民一人一人が認識できる取組を進めます。
- ◆ 災害発生に備えた環境整備をはじめ、防災学習や地震被害想定調査結果を踏まえた対策の検討など公助の取組を更に推進します。
- ◆ 地域とともにある消防団の組織体制を整備するとともに、消防力・防災力の維持・向上を図ります。
- ◆ 安心して暮らすために、日常における市民の防犯意識の高揚をはじめとする犯罪被害防止の取組を進めます。
- ◆ 安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を計画的に進めるとともに、自然災害に備え防災・減災・強靱化を図ります。
- ◆ 平時における動画等を活用した防災学習や大規模災害時に備えた防災DXに取り組めます。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 顔が見える関係で、有事に支え合う（助け合う）関係があると考えている市民の割合（％）	71.7 （令和5年）	73.0 （令和6年）			73.0
② 災害に備え食料を備蓄していると回答した市民の割合（％）	74.2 （令和5年）	81.0 （令和6年）			100.0
③ 個別避難計画の策定割合（％）	17.0	年度末			100.0
④ 刑法犯認知件数（件）	279	年度末			255
⑤ 準用河川の防災対策実施率（％）〔 〕内は箇所数	0.0 〔0〕	6.3 〔21〕			31.9 〔107〕 （累計）
⑥ 橋梁長寿命化修繕工事实施率（％）〔 〕内は箇所数	25 〔18〕	28 〔20〕			100 〔71〕
⑦ 人身交通事故の発生件数（件）	176	年度末			175

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略	①	日常の地域自治活動を通じた地域住民の顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化		
	(1)	親子で参加する防災訓練を計画するほか、公民館活動による地域や人とのつながりを大切にしたい学び合いや多世代が集い交流を深める事業など地域の様々な活動を通じて、災害時にも互いに助け合えるよう共助の意識向上を図ります。		
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域自治活動支援事業	地域自治振興課	116,753	基本目標1 小戦略①
(1)	多様な学習交流支援事業	公民館	13,310	基本目標1 小戦略②⑤ 基本目標3 小戦略③
(1)	災害対策事業	危機管理課	63,257	基本目標2 小戦略②
		計	193,320	
小戦略	②	市民一人一人の防災意識の向上、助け合いによる地域防災力の強化とそれらを支える公助の取組の推進		
	(1)	無料耐震診断・耐震改修を促進するほか、建物内の安全性を高める対策、非常持ち出し品の準備、防災アプリを活用した安否確認、わが家の避難計画づくりを進めるための啓発に取り組み、自分自身や家族を守る意識の向上を図ります。		
	(2)	地域防災力の向上を図るとともに、自主防災組織が実施する防災訓練等が持続的な活動となるよう防災士を育成します。また、資機材整備に対する助成のほか、備蓄品の更新・整備に取り組みます。		
	(3)	避難行動要支援者が地域等の協力を得ながら安全に避難できるよう、関係機関と連携し個別避難計画の作成を進めます。		
	(4)	多様な要配慮者が避難できる福祉避難所の確保を進めます。		
	(5)	地震被害想定調査の結果を踏まえ、各地区の特性や課題に応じた実効性の高い防災計画への見直しを支援します。また、孤立が想定される集落の通信手段を確保します。		
	(6)	学習会等を開催し、市民の防災・減災意識の向上を図ります。		
	(7)	大規模災害時における迅速な被災者支援に向けて被災者生活再建支援システムの導入を検討します。		
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(4) (5)(6)(7)	防災対策推進事業	危機管理課	81,014	
(5)	災害対策事業	危機管理課	63,257	基本目標2 小戦略①
(3)	避難行動要支援者支援事業	福祉課	7,806	基本目標6 小戦略①
		計	152,077	

小戦略	③ 飯田市消防力(消防団)整備計画に基づく地域消防力の維持・向上			
	(1) 大規模災害時に地域の防災拠点となる詰所について、団員の安全性と機能確保の観点から耐震性を高めるとともに、女性団員が活躍しやすい環境や団員が集う地域づくりの拠点となるよう順次整備を進めます。また、班の統廃合について、消防団と連携し地域との協議を進めます。			
	(2) 地域消防力の維持・向上のため、消防車両等の資機材を計画に沿って整備するほか、実践的かつ効果的な訓練を実施します。			
	(3) 団員への各種資格取得の助成などにより消防団活動の魅力を高めるとともに、入団しやすい環境づくりや消防団活動の理解を図る広報のほか、事業所を含む地域全体の理解と協力を得ながら団員確保に努めます。			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	消防施設整備事業	危機管理課	120,467	
(2)(3)	非常備消防事業	危機管理課	195,230	
		計	315,697	
小戦略	④ 犯罪被害防止と消費者トラブルの未然防止			
	(1) 警察をはじめとする関係機関と連携して犯罪被害情報の発信と予防に関する啓発等に取り組むとともに、地域の協力を得ながら防犯パトロール、街頭啓発活動等を進めます。			
	(2) 消費者トラブルを未然に防ぐため、ライフステージに応じて関係機関等と連携した取組を進めます。			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域安全活動事業	危機管理課	36,700	
(2)	消費生活センター事業	市民課	19,077	基本目標4 小戦略②
		計	55,777	

小戦略	⑤	安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化対策と強靱化、生活道路の安全対策をはじめとする交通事故抑止
-----	---	---

- | | |
|-----|---|
| (1) | 激甚化・頻発化する自然災害に備え、市民が安全に避難でき、緊急物資等が供給できるよう緊急輸送路等の整備と道路陥没の原因となる路面下の空洞調査を推進します。また、避難地となる公園の防災機能強化を検討します。 |
| (2) | 市道（橋りょうや舗装を含む）、水路及びため池等について計画的な更新や修繕等により長寿命化対策を進めます。また、準用河川の防災対策が必要な箇所について、緊急度の高い箇所から計画的に河川改修やしゅんせつなどを進めます。 |
| (3) | 重要なライフラインのひとつである上下水道施設について、経営戦略に基づいた計画的な更新整備を進めます。 |
| (4) | カーブミラーや路面標示などの安全施設整備を緊急性及び危険性の高い箇所から進めます。 |
| (5) | 交通安全運動期間を重点に交通事故防止啓発活動や交通安全教室等を推進し、交通安全意識の高揚を図ります。 |

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	公園整備事業	維持管理課	79,458	基本目標1 小戦略⑦ 基本目標3 小戦略⑧
(1)(2)	社会基盤維持管理事業	維持管理課	1,295,800	
(1)(2)	防災・安全対策事業	土木課	528,746	基本目標3 小戦略⑧
(2)	土地改良事業	土木課	186,696	
(3)	水道事業	水道課	4,704,900	
(3)	妙琴浄水場更新整備事業	水道課	162,000	
(3)	下水道事業	下水道課	4,908,220	
(3)	下水処理施設維持管理事業	下水浄化センター	1,184,582	
(4)	交通安全施設整備事業	危機管理課	25,885	基本目標3 小戦略⑧
(5)	交通安全事業	危機管理課	3,972	
		計	13,080,259	

参考	デジタル技術を活用する事務事業（再掲）
----	---------------------

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
① (1)	災害対策事業	危機管理課	
② (2) (6)	防災対策推進事業	危機管理課	
③ (3)	非常備消防事業	危機管理課	

基本目標 3

飯田で育ってよかった・育ててよかったと 実感できるまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ こども・若者の意見を聴き、大人も一緒に考え、実現することで、自己有用感や自己肯定感を感じることができ、積極的に物事に関わろうとする文化、風土を醸成します。
- ◆ 発達段階に応じて自然や文化・芸術に触れ、多様な人と関わる実体験や経験、地域との関わりを持ちながら、生涯にわたって、主体的に他者と協働しながら自らの未来を描き、その実現に向けて生き抜いていける力の基礎を育みます。
- ◆ 妊娠、出産、育児・子育ての心配や不安など個々のニーズに寄り添い、子育てに魅力を感じられるよう、継続した効果的な相談・支援に取り組みます。
- ◆ 未来を見据えて地域の良さを生かしながら、全てのこどもにとって魅力ある学びの環境づくりを進めていきます。
- ◆ 様々な困難を抱えるこども・若者や家庭を誰一人取り残さず、その特性やニーズに応じた相談等に寄り添ったきめ細かな支援を途切れなく提供します。
- ◆ こども・若者の健全な育成を実現するため、ライフステージにあわせた経済的（家計）支援に取り組みます。
- ◆ 安心して利用できる公共施設や社会基盤の整備、通学路安全対策等をこどもの視点も取り入れて整備します。
- ◆ 若者がこの地域に暮らしながら学びを深め、希望をかなえることができる環境の充実に取り組みます。
- ◆ こども・若者からの意見聴取や様々な子育て情報発信の手段として、デジタル技術の活用を推進します。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 信州やまほいく 認証施設数 （園）	23 （令和6年4月）	23			27
② 乳幼児健診・乳幼児相談 の受診 率（％）	令和7年5月 ※令和5年98.0	97.1 （令和6年度）			98.0
③ 産後の指導・ケアを十分に 受け ることができたと 回答した人の 割合（％）	令和7年5月 ※令和5年88.9	89.4 （令和6年度）			92.0
④ 「家庭がほっとできる、安心で きる場所」と思う又はどちらか といえそう思うこども・若者 の割合（％）	こども 87.6 若 者 89.4 （令和6年10月）	若者 87.7 （令和7年9月）			こども 92.5 若 者 92.5
⑤ 飯田市に住み続けたいと思う又 はどちらかといえそう思う若 者の割合（％）	59.2 （令和6年10月）	57.3 （令和7年9月）			69.2
⑥ 自分にはよいところがあると 思っている児童生徒の割合 （％）	小学生 81.8 中学生 77.7	小学生 84.1 中学生 83.2			基準値以上
⑦ 【小中学生】 地域や社会をよくするために何 かしてみたいと思う児童生徒の 割合（％） 【高校生】 地域（社会）をよりよくするた めに、地域課題の解決に関わり たいと思う生徒の割合（％）	小学生 86.0 中学生 77.5 高校生 58.7	小学生 78.7 中学生 74.6 高校生 65.4			基準値以上
⑧ 将来の夢や目標を持っている児 童生徒の割合 （％）	小学生 80.3 中学生 59.8	小学生 80.2 中学生 64.7			基準値以上
⑨ 課題の解決に向けて、自分で考 え、自分から取り組んでいる児 童生徒の割合 （％）	小学生 81.3 中学生 82.8	小学生 79.4 中学生 79.7			基準値以上

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	安心して子ども・若者が意見表明、話し合いの場に参加することができ、その意見が反映できる仕組みづくり			
	子ども・若者、子育て世代の声を聴く機会を継続的に設け、思い描く夢や希望するライフスタイルを実現するために応援してもらいたいことなどを把握し、飯田（ここ）で育ってよかった・育ててよかったと感じられる気運を醸成します。			
	（2） 子ども・若者や子育て世代が抱える将来への不安や悩みなどを受け止め、子ども・若者の思いや希望に配慮した支援策を検討します。			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域子育て支援事業	子ども課	24,110	基本目標1 小戦略⑤ 基本目標3 小戦略②⑦ 基本目標6 小戦略②
(2)	子ども家庭センター事業	子ども課	90,062	基本目標3 小戦略② 基本目標6 小戦略②
		計	114,172	

小戦略

②

妊娠、出産、子育てまでの効果的で途切れない相談・支援

- (1) 不妊・不育症治療費助成や相談窓口の設置を継続し、こどもを欲しいと望む方の希望がかなうよう寄り添った支援をします。また、妊産婦の健康を保持増進し、こどもが健やかに生まれ育つために妊産婦健診費用を助成します。
- (2) 若者が将来のライフプランを考え、正しい知識を得て健康的な生活を送ることは、健やかな妊娠・出産や未来のこどもの健康にもつながることから、市内の高校等や婚姻届出時にプレコンセプションケアの啓発活動を行います。
- (3) 妊娠届出時の面談から乳幼児健診までの機会における子育ての多様な相談への対応により妊娠、出産、子育て期間を通して途切れない相談支援体制を継続します。また、産後ケア事業の通所型と訪問型を開始し、多様化するニーズに対する効果的な支援を行います。
- (4) 保護者の妊娠期から子育て期にかけた不安や心配ごとに寄り添う相談を実施し、地域資源（子育てつどいの広場、乳幼児学級等）を活用しながら、子育てに対する不安軽減に取り組みます。
- (5) 放課後児童クラブの児童支援員等の人材確保と研修等による専門性の向上に取り組むとともに、利用者の快適性・利便性の向上を図ります。また、放課後子ども教室等に取り組む団体の運営・活動を支援します。
- (6) こどもの放課後や長期休暇期間中の居場所づくり及び地域こどもの生活支援事業に取り組む団体の運営・活動を支援します。
- (7) 飯田市立病院を中心として、地域診療所や助産院等と連携した産科医療体制により、地域での安全安心な分娩機能を堅持するとともに、市民に対し健診、分娩ができる産科医療機関や助産院の情報を提供します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	不妊治療費助成事業	保健課	12,383	
(1)	妊産婦健診事業	保健課	85,105	
(2)	多様性社会推進事業	共生・協働推進課	11,488	基本目標1 小戦略④⑤
(2)(3)	乳幼児保健事業	保健課	21,761	基本目標1 小戦略⑤
(3)(4)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,247	
(3)(4)	出産子育て応援事業	保健課	95,861	基本目標6 小戦略②
(3)(4)(6)	地域子育て支援事業	こども課	24,110	基本目標1 小戦略⑤ 基本目標3 小戦略①⑦ 基本目標6 小戦略②
(4)	こども家庭センター事業	こども課	90,062	基本目標3 小戦略① 基本目標6 小戦略②
(5)(6)	児童センター・児童クラブ運営事業	学校教育課	338,038	
(5)(6)	放課後子ども教室設置運営事業	学校教育課	4,876	
(6)	民間保育所等特別保育事業	保育家庭課	211,275	基本目標3 小戦略③⑤
(7)	市立病院運営事業	市立病院事務局 経営企画課	19,397,700	基本目標6 小戦略⑦
		計	20,293,906	

小戦略 ③	地育力を活用し、地域の自然や文化、地域との関わりにより、健やかで心豊かな育ちを支える
(1)	地域とのつながりを深め、地域の自然や文化にふれる「いいだ型自然保育」に取り組みます。
(2)	安定した保育人材確保、復職支援など各種支援に取り組みます。また、質の高い教育・保育を提供するための保育の質向上に向けた研修を行います。
(3)	「地域食材の日」を公立保育園や小中学校の給食で設け、こどもが地域の野菜等を味わい、生産者と交流し、地域の旬の食材や郷土食、環境に配慮した食材について知ること、食育を進めます。
(4)	地域での多様な世代との対話と協働を軸に、学習交流活動を推進し、地域の未来を紡ぐ人材を育みます。
(5)	公認地域クラブへの活動支援をするとともに、指導者の確保と育成に取り組み、持続可能な運営体制の構築を目指します。
(6)	中央図書館や美術博物館を「こどもの居場所」とし、こども向けの行事等を市民協働で実施する「こどもタイム」等を定期的に設定することで、こどもが読書や文化・芸術を楽しむ環境づくりを進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	民間保育所等特別保育事業	保育家庭課	211,275	基本目標3 小戦略②⑤
(1)(3)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	929,512	基本目標3 小戦略⑤⑥⑦⑧
(2)	保育士等人材確保支援事業	保育家庭課	21,714	
(2)	児童福祉推進事務	保育家庭課	14,077	
(3)	学校給食運営事業	学校教育課	801,931	基本目標3 小戦略⑦
(3)	学校給食施設維持管理事業	学校教育課	23,624	基本目標3 小戦略⑧
(3)	地域循環型農業推進事業	農業課	20,174	基本目標5 小戦略④
(4)	社会教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	15,237	基本目標1 小戦略②
(4)	多様な学習交流支援事業	公民館	13,310	基本目標1 小戦略②⑤ 基本目標2 小戦略①
(4)	高校生等次世代育成事業	公民館	10,877	基本目標1 小戦略②
(4)	みらい創造教育推進事業	教育センター	5,100	基本目標1 小戦略② 基本目標3 小戦略⑤
(5)	文化・スポーツ活動の体制整備事業	生涯学習・スポーツ課	20,267	
(6)	こども読書活動推進事業	中央図書館	11,809	
(6)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	6,826	
		計	2,105,733	

小戦略 ④	一人一人が主体的に学ぶ、「児童生徒」が主語になる学びを進める
(1)	ICTの特性を活用するなどして個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。併せて児童生徒の問いや願いを大切にしたい学び（ムトスの学び）の視点から各校の授業改善が進むように支援します。
(2)	全国学力・学習状況調査および総合学力調査等で児童生徒の学習状況を把握し、具体的な指導改善や支援につなげる取組が小中学校で展開できるよう、研修会や学校訪問等を通して各学校の取組を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	学習におけるICT活用推進事業	教育センター	414,910	基本目標3小戦略⑥
(1)(2)	情報モラル教育推進事業	教育センター	2,183	基本目標3小戦略⑥
(2)	学校教育振興事業	学校教育課	188,691	
(2)	学力向上推進事業	教育センター	14,298	
(2)	外国語教育推進事業	教育センター	55,042	
		計	675,124	

小戦略 ⑤	通いたい・通わせたい学校を目指した「学園構想」の推進
(1)	「飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針～第1次～」に基づき、各中学校区内の小中学校を「学園」として小中一貫教育を進めます。義務教育の9年間を見通し、各教科等及び各学年相互間の関連を図りながら、系統的、発展的な指導ができるようにします。また、飯田コミュニティスクールの仕組みを生かして、地域・家庭も各学園における児童生徒の学びを支えます。
(2)	「みらい創造科」を特設教科として新設し、地域とのつながりを生かしながら「ムトスの学び」を具現化する「探究する学び」を進め、自分や地域の未来を創造できる資質・能力を育む取組を進めます。また、園小連携の視点から、園での育ちを学園の学びにつなげるよう各園の取組を支えます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	1,879	
(1)(2)	小中一貫教育推進事業	教育センター	11,359	
(1)(2)	みらい創造教育推進事業	教育センター	5,100	基本目標1小戦略② 基本目標3小戦略③
(2)	民間保育所等特別保育事業	保育家庭課	211,275	基本目標3小戦略②③
(2)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	929,512	基本目標3小戦略③⑥⑦⑧
		計	1,159,125	

- (1) 子育ての行き詰まりなど困難を抱える家庭の支援ニーズに対応し、子どもが安心して生活できるよう子育て相談や発達相談に取り組みます。
- (2) 発達支援ニーズのある子どもへの支援内容を所属園と子ども課が検討する機会として、5歳児相談を市内全保育所・認定子ども園へ拡大します。
- (3) 一人一人が抱える悩みや特性に応じた学びの場や学び方を提供するため、地域住民やフリースクール等の民間団体との連携を図り、児童生徒の多様な学びの選択肢を広げます。
- (4) ICTを活用し、特別な支援が必要な子どもを含め、一人一人の特性や状況に応じた学び方を支援し、誰一人取り残されることのない教育環境づくりを進めます。
- (5) 発達特性や障がい、医療的支援等を必要とする児童生徒への学習・生活・看護面における支援体制を強化するとともに、互いを認め合い、困っている人に手を差し伸べる温かな人間関係のある集団づくりを推進し、誰もが安心して過ごせる学校づくりを支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	養育支援事業	子ども課	42,312	
(1)	広域的地域相談支援事業	子ども課(子ども発達センターひまわり)	44,109	基本目標6小戦略③
(1)	医療的ケア児等総合支援事業	子ども課(子ども発達センターひまわり)	6,779	基本目標6小戦略③
(1)	児童発達支援センター事業	子ども課(子ども発達センターひまわり)	97,050	基本目標6小戦略③
(1)	公立認定子ども園管理運営事業	保育家庭課	929,512	基本目標3小戦略③⑤⑦⑧
(1)	障害福祉推進事業	福祉課	78,640	基本目標6小戦略②③
(2)	発達支援事業	子ども課	14,875	
(3)(5)	人間関係づくり支援事業	教育センター	117,723	
(4)	学習におけるICT活用推進事業	教育センター	414,910	基本目標3小戦略④
(4)	情報モラル教育推進事業	教育センター	2,183	基本目標3小戦略④
(4)(5)	特別支援教育支援事業	教育センター	165,094	
		計	1,913,187	

小戦略 ⑦	若者、子育て家庭への経済的支援
(1)	若者、子育て家庭の経済的負担、不安の軽減に向けて、ライフステージに応じた効果的な経済的支援に取り組みます。
(2)	ひとり親の自立の促進を図り、主体的な能力開発により、就職が容易になるよう支援します。また、ひとり親家庭等のこどもの生活の向上を図り、関係団体と連携して基本的な生活習慣の習得支援や学習支援に取り組みます。
(3)	経済的に就学困難な児童生徒の保護者へ就学援助費等を支給します。また、学校や各部局と連携し、奨学金制度の周知及び情報発信を行うとともに、進学を希望しているこどもが経済的理由により進学を諦めることがないよう奨学金制度の運用などこども・若者の夢を応援する経済的支援に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域子育て支援事業	こども課	24,110	基本目標1小戦略⑤ 基本目標3小戦略①② 基本目標6小戦略②
(1)	福祉医療費給付事業	保健課	711,006	
(1)	児童手当事業	保育家庭課	2,039,755	
(1)	民間保育所等運営事業	保育家庭課	3,539,225	
(1)	結婚新生活支援事業	保育家庭課	22,045	
(1)	保育料軽減事業	保育家庭課	213,880	
(1)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	929,512	基本目標3小戦略③⑤⑥⑧
(2)	ひとり親家庭等福祉推進事業	保育家庭課	25,775	
(2)	児童扶養手当事業	保育家庭課	360,679	
(2)(3)	奨学金貸与事業	教育政策課	38,270	
(3)	通学支援事業	学校教育課	12,685	
(3)	就学援助等事業	学校教育課	96,812	
(3)	学校給食運営事業	学校教育課	801,931	基本目標3小戦略③
		計	8,815,685	

小戦略 ⑧	こどもが安全・安心に生活できる環境整備
(1)	こどもが安全・安心に生活できる住環境を整えるとともに、急激な気候変動に対応した公共施設整備に取り組みます。
(2)	こども、若者が安心して集える都市公園の整備や子育ての場として、魅力ある動物園の環境整備に取り組みます。
(3)	「飯田市通学路安全対策アクションプログラム」に基づき、児童生徒が安全に安心して通学できるようにするため、通学路の安全対策と環境整備に取り組みます。
(4)	こどもが安全に学び、活動できるよう、保育所、認定こども園、小中学校の施設の改修整備に取り組みます。
(5)	小中学校体育館への空調設備の導入を段階的に進め、酷暑などの気候変動に左右されない、安全で安心な教育環境づくりに取り組みます。
(6)	丸山共同調理場の老朽化に伴う新たな共同調理場の整備を行うとともに、共同調理場の配食校の見直しを行います。
(7)	天候に左右されず、年間を通じて飯田の子育ての拠り所として、親子が気軽に集い、交流、思い切り遊ぶことができる場の検討を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	公営住宅整備事業	地域計画課	223,994	
(1)(4)	民間保育所等施設整備事業	保育家庭課	197,432	
(1)(4)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	929,512	基本目標3小戦略③⑤⑥⑦
(1)(4)(5)	小学校施設改修事業	教育政策課	82,895	
(1)(4)(5)	中学校施設改修事業	教育政策課	119,870	
(2)	公園整備事業	維持管理課	79,458	基本目標1小戦略⑦ 基本目標2小戦略⑤
(2)	公園維持管理事業	維持管理課	95,868	
(2)	飯田子どもの森管理運営事業	維持管理課	63,112	
(2)	飯田動物園管理運営事業	維持管理課	72,813	基本目標1小戦略⑦
(3)	防災・安全対策事業	土木課	528,746	基本目標2小戦略⑤
(3)	交通安全施設整備事業	危機管理課	25,885	基本目標2小戦略⑤
(6)	学校給食施設維持管理事業	学校教育課	23,624	基本目標3小戦略③
(7)	思いきり遊ぶ親子交流施設整備事業	こども課	1,753	基本目標1小戦略⑦
		計	2,444,962	

小戦略 ⑨	地域の高等教育環境の充実
(1) 当地域の高等教育環境の充実や4年制大学の開設の可能性について、地域内外の高等教育機関との意見交換や情報収集に取り組みます。また、将来の学部等の設置につながるよう、南信州サテライトキャンパスを設置している信州大学等との連携を推進します。 (2) 新たな気づきにより学びに対する意欲を高め、若者自らが持つ可能性を広げることができるよう、大学の研究者等と学ぶ機会を提供します。	

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携推進室	21,471	
(1)(2)	大学設置活動推進事業	大学誘致連携推進室	500	基本目標4 小戦略③
		計	21,971	

参考	デジタル技術を活用する事務事業（再掲）
----	---------------------

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
② (3)	出産子育て応援事業	保健課	
③ (1) (3)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	
④ (1) ⑥ (2) (4)	学習におけるICT活用推進事業	教育センター	⑤(2)
④ (2)	学校教育振興事業	学校教育課	

基本目標 4

自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」を通じて環境文化都市の理念浸透や意識変革を市民に広く働きかけるとともに、地域資源を生かした環境学習を進めることで一人一人の行動変容を促します。
- ◆ サーキュラーエコノミーへの移行を視野に入れ、3Rを更に推進するとともに、水などの循環利用の研究を進め、消費者、事業者に対しても新たな資源循環について理解が深まるよう働きかけます。
- ◆ 2050年いいだゼロカーボンシティ実現に向けて、エネルギーの見える化を進め、エネルギーの効率的利用をはじめとした省エネルギーを促進するとともに、グリーン水素利活用の研究や地域産再生可能エネルギーの創出及び利活用を進めます。
- ◆ ネイチャーポジティブの実現に向けて、生物多様性への理解を深め、地域の豊かな自然環境の保護及び利活用を進めます。
- ◆ 一人一人の行動変容を促すため、エネルギーの見える化の研究や3Rの啓発に向けた情報発信にデジタル技術を活用します。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 環境に関する学習会や知識を高めるような行事に関わったり、参加した人の割合（％）	20.1 （令和5年）	20.1 （令和6年）			35.0
② 環境文化都市の認知度（％）	58.7 （令和5年）	60.7 （令和6年）			70.0
③ 市民一人当たりが1日に排出するごみの量（家庭系一般廃棄物）（g）	548.9 （令和5年）	546.6 （令和6年）			500.6
④ 家庭から排出されるごみのリサイクル率（％）	22.3 （令和5年）	21.6 （令和6年）			28.4
⑤ エシカル消費を日常的に心がけ実践している人の割合（％）	66.2 （令和5年）	66.6 （令和6年）			75.0
⑥ 二酸化炭素排出量（2013年比）（％）	100 （2013年）	66.6 （2023年）			50 （2030年）
⑦ OECMとしての国際データベース登録に向けた申請数（件）	0	0			3

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	環境意識を高め、行動変容へつなげる「うごくる。」の充実
(1)	「うごくる。」により、カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ（自然再興）、サーキュラーエコノミー（循環経済）の3つを統合的視点から、市民・地域・事業者が学び、理解を深める機会を提供し、環境文化都市の実現に向けた意識の醸成を進め、行動変容につなげます。
(2)	小中学生を対象にした環境教育を進め、環境を大切にする意識を育むことで環境文化都市を担う人材を育成するとともに、こどもたちが学んだことを家庭で共有し、実践することで、家庭や地域における行動変容につなげます。
(3)	熱中症対策を進めるとともに学習機会の充実を図り、命を守るための気候変動適応を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	環境教育推進事業	環境課	1,560	
(1)(2)(3)	環境保全一般経費	ゼロカーボンシティ推進課	11,704	基本目標4 小戦略⑤
(2)	脱炭素先行地域づくり事業	ゼロカーボンシティ推進課	562,498	基本目標4 小戦略③
		計	575,762	

小戦略 ②	新たなリサイクルの研究などによる3Rのさらなる推進と資源循環の研究
(1)	エシカル消費の普及促進、ごみ分別の徹底啓発などにより、市民の環境意識の向上とごみの減量を進めます。また、市民の利便性を高める新たなリサイクル品目を研究し、さらなる3Rの推進に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	3R推進事業	環境課	225,927	基本目標4 小戦略⑤
(1)	ごみ適正処理事業	環境課	323,905	
(1)	消費生活センター事業	市民課	19,077	基本目標2 小戦略④
		計	568,909	

小戦略 ③	省エネルギーの促進と地域産再生可能エネルギーの創出、利活用の推進			
(1)	省エネ診断によるエネルギー使用量の現状把握やすぐ実践できるエコドライブの普及などにより、市民の省エネ意欲を高めることで、家庭や事業所におけるエネルギーコストとCO ₂ 排出量消費量の削減を促進します。			
(2)	太陽光など地域産の再生可能エネルギーを拡大させるとともに、その活用を推進し地域エネルギーの自立を図ります。			
(3)	2030年までの脱炭素エリア構築に向けて、再生可能エネルギーの導入や地域マイクログリッドの運用、小中学校への環境学習プログラム導入など脱炭素先行地域づくりを推進します。			
(4)	信州大学と連携し、地元企業を交えてグリーン水素の利活用に向けた研究を進めるとともに、水素を利活用する社会の実現に向けて市民意識の醸成を図ります。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	省エネルギー推進事業	ゼロカーボンシティ推進課	4,549	
(1)(2)(4)	地域エネルギー普及事業	ゼロカーボンシティ推進課	53,197	基本目標5 小戦略②
(1)(3)	脱炭素先行地域づくり事業	ゼロカーボンシティ推進課	562,498	基本目標4 小戦略①
(4)	新産業創出事業	工業課	33,790	基本目標5 小戦略②
(4)	大学設置活動推進事業	大学誘致連携推進室	500	基本目標3 小戦略⑨
		計	654,534	

小戦略 ④	生物多様性と自然環境の保全推進			
(1)	ネイチャーポジティブ（自然再興）のため、地域の貴重な動植物や自然環境を調査し、保全・再生に取り組みます。また、保全地域として国際的に認められるOECM登録を目指し、地域の自然の価値を地域内外に発信啓発するとともに保全活動団体を支援します。			
(2)	エコパーク及びジオパークについて、それぞれの協議会の活動に構成市町村と連携して取り組むとともに、地域内外への分かりやすい情報発信により認知度向上を図り、生物多様性と自然環境の保全を推進します。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	自然環境保全推進事業	環境課	1,289	
		計	1,289	

小戦略	⑤	デジタル技術を活用した3R啓発とエネルギーなどの見える化の推進
(1) ごみ分別啓発アプリ「さんあ〜る」のごみ分別検索や集積所表示機能を充実し、市民が容易にごみ情報を取得できるデジタル環境の活用を促進することで、適正分別とごみ減量を促し、3Rを推進します。		
(2) デジタル技術を活用し、エネルギー使用量やCO₂排出量の「見える化」を進めるとともに、事業者に対して脱炭素経営への移行に向けた伴走型の支援を行い、CO₂排出削減をはじめとするGXを推進します。		

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	3R推進事業	環境課	225,927	基本目標4小戦略②
(2)	環境保全一般経費	ゼロカーボンシティ推進課	11,704	基本目標4小戦略①
		計	237,631	

参考	デジタル技術を活用する事務事業（再掲）
----	---------------------

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
⑤ (1)	3R推進事業	環境課	
⑤ (2)	環境保全一般経費	ゼロカーボンシティ推進課	

基本目標 5

誰もが多様な働き方で活躍でき、
次世代につながる魅力ある産業をつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 地域の全ての産業を支える担い手を育成・確保するため、若者や親世代に地域産業の魅力を伝えるとともに、誰もが多様な働き方ができ、安心して働き続けられる環境づくりを支援します。
- ◆ 地域産業の更なる成長に向け、企業の稼ぐ力を高めるため、大学等との連携を図り、地域産業の高付加価値化・ブランド化に取り組みます。また、次世代空モビリティ・水素分野をはじめとする新産業への取組と脱炭素社会の構築への挑戦を支援します。
- ◆ 南信州地域が旅の目的地となるように、多様な主体が参画した取組により遠山郷、天龍峡等への誘客を図ります。また、地域固有の風土、人々の営み等の地域の魅力や資源を活用して、サステナブルツーリズムを推進し、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えて関係人口の創出・拡大に取り組みます。
- ◆ 地域の産業において、域内生産・域内消費・域内発注・域内調達により地域からの所得の流出を低減するとともに、外部環境の影響を受けにくく環境負荷低減に寄与する地域内経済循環の取組を推進します。また、農業や林業が持つ多面的機能の理解を深め、豊富な資源や景観を活用する視点から、「農ある豊かな暮らし」を推進します。
- ◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えて産業用地等の整備を進め、地域の特性・強みを生かして企業・事務所機能等の誘致に取り組みます。また、脱炭素社会の構築への取組を進める企業の新規立地や拡張を支援します。
- ◆ デジタル人材の育成と情報通信技術関連企業・人材の誘致・確保に取り組み、デジタル技術活用等により事業者の省力化と、生産性・サービス向上の促進を支援します。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 新規高校・大学等卒業者 の地域内就職率（％）	35.4	32.5			45.0
② 長野県職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業数（社）	25	27			45
③ 新規就農者数（自営・親元就農）（人）	9 （令和5年）	9 （令和6年）			30 （累計）
④ I-Port、ビジネスプランコンペにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数（件）	8 （令和5年）	8 （令和6年）			40 （累計）
⑤ 市田柿出荷量（南信州）（t）	2,075 （令和5年）	2,087 （令和6年）			2,200
⑥ 搬出材積（国有林を除く）（m³）	7,690 （令和5年）	5,560 （令和6年）			45,600 （累計）
⑦ ネスクイイダ引合件数（全体）（件）	584 （令和5年）	512 （令和6年）			600
⑧ 製造業の粗付加価値額（飯田下伊那）（億円）	1,618 （令和4年）	1,608 （令和5年）			1,700
⑨ 観光入込客数（遠山郷を除く）（人・暦年）	527,300 （令和5年）	535,600 （令和6年）			558,300
⑩ 観光地消費額（遠山郷を除く）（百万円・暦年）	763 （令和5年）	780 （令和6年）			828
⑪ 遠山郷の観光入込客数（人・暦年）	70,700 （令和5年）	87,800 （令和6年）			160,000
⑫ 遠山郷の観光地消費額（百万円・暦年）	160 （令和5年）	183 （令和6年）			260
⑬ 市内企業・事業所の市内調達率（％）	41.3	年度末			45.0
⑭ 市民の市内店舗での購入率（％）	72.9	72.9 （令和6年）			75.0
⑮ 市民の市内店舗での地域産品購入率（％）	84.4 （令和5年）	86.6 （令和6年）			90.0
⑯ ネスクイイダ引合件数（会員間）（件）	63 （令和5年）	12 （令和6年）			70
⑰ 環境に配慮した農産物地域相互認証制度の認定者数（人）	11	16			30
⑱ 学校給食に提供する有機米の圃場面積（a）	25	98			200
⑲ 市産材の活用支援を利用した建築件数（件）	17 （令和5年）	12 （令和6年）			100 （累計）
⑳ 企業立地・振興補助金交付件数（件）	2 （令和5年）	4 （令和6年）			8 （累計）
㉑ サテライトオフィス補助金交付件数（件）	2 （令和5年）	1 （令和6年）			8 （累計）

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略	①	地域産業を支える担い手・企業人材の確保・定着及び育成と多様な働き方・労働力補完に対する支援
(1)	若者や保護者が地域の企業や産業への理解を深め、地元で働くことを具体的にイメージできるよう、企業見学や仕事体験などを実施するとともに、中京圏での合同企業説明会の実施や従業員の奨学金を肩代わりする企業の支援に取り組みます。	
(2)	地域産業の労働力を補うため、女性のライフステージに応じた柔軟な働き方の実現を目指し、自営型テレワーカー養成講座を実施し、デジタルスキルの向上から就業までを支援します。また、副業・兼業人材を活用する事業者に対して補助を行います。	
(3)	働きやすい職場環境の整備による人材の定着につながる取組として、工場内の温熱・空気環境の改善や断熱・換気等の設備導入に対する補助を行うとともに、女性も若者も定着し活躍できる職場づくり、男性の育児休暇取得率の向上などに取り組む中小企業者等の資金繰りを制度資金により支援します。	
(4)	移住就農者誘致のため南信州担い手就農プロデュースと連携して移住就農相談会に参加します。また、「地域おこし協力隊」制度や国等の補助制度を活用した就農に向けた研修などにより新規就農者を確保するとともに、就農後も伴走型で支援します。	
(5)	農業者の繁忙期における労働力補完のためワーキングホリデー、1日農業バイトの利用拡大の広報を行います。また、市民農園の増設やレクリエーション農園の利用促進を通して市民が農作業に親しむ環境を整備します。	
(6)	専業・兼業等農業形態を問わず農業経営に意欲のある者に対する機械購入費への補助等を行い、農業経営を支援します。	
(7)	林業体験講座を通じて林業への関心を高めてもらい、担い手の発掘、育成を図ります。また、里山整備を担う人材育成のため技術講習会を実施するほか、林業人材の確保及び既存の林業従事者のスキルアップのための仕組みや支援策について研究を進めます。	
(8)	製造現場における技術者・技能者等の育成と経営者の経営力・課題解決力を高めるため、専門人材の配置、学習・実践の場の提供、個別相談を組み合わせた伴走型の支援を行います。	
(9)	信州大学と連携し、エス・バード内の「信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス」の充実や専門的なスキル・技術を持った人材育成に取り組みます。	
(10)	飯田市新事業創出支援協議会（I-P-o-r-t）の機能活用とビジネスプランコンペティションの開催を通して、起業家の創出と育成、新事業創出、事業転換を目指す事業者を支援します。	

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	雇用対策事業	産業振興課	19,741	基本目標1 小戦略⑤
(1)	技能者育成支援事業	産業振興課	2,881	
(1)	勤労者支援事業	産業振興課	161,490	
(3)	中小企業金融対策事業	産業振興課	1,541,819	基本目標1 小戦略⑤
(3)	工業振興事業	工業課	213,265	基本目標5 小戦略④
(4)(5)	担い手確保・育成支援事業	農業課	74,483	
(5)	農業振興センター事業	農業課	6,000	基本目標5 小戦略②
(6)	農業経営強化事業	農業課	13,317	
(7)	里山整備推進事業	林務課	14,429	基本目標5 小戦略④
(1)(8)(9)	産業人材育成事業	工業課	11,113	
(10)	スタートアップ成長支援推進事業	工業課	23,604	
		計	2,082,142	

- (1) 市田柿の販路拡大のため、生産団体と連携して国内外に展開する料理教室の取組の推進や海外進出のための商談・市場調査を進めます。また、市田柿の生産性向上に向けて最新式の柿むき機の導入支援を行い、生産量の増大と品質の向上を図り、産地力の強化を進めます。
- (2) 南信州の畜産物の普及と飯田焼肉のブランド力強化のため、銘柄豚の学校給食での提供、イベントでの出店、南信州牛フェアの開催等認知度向上や消費拡大につながる取組を進めます。
- (3) 農業者の減少が著しい中で、デジタル技術の活用例を紹介し、農産物の高品質維持と省力化の普及を進めます。また、農業団体等と連携し、気候変動に対処するための栽培方法や当地域に適した新たな品目を研究します。
- (4) 施業の効率化、安全確保、労働環境の改善に向け、架線集材、高性能林業機械の導入、ドローンやIT技術等の活用を関係機関とともに支援します。また、森林資源の価値を高めるとともに、地域外とのネットワークを新たに構築し、J-クレジットの売却や木材の販路拡大を図るため、J-クレジットの発行に向けた取組を推進します。
- (5) デジタル技術の活用による事業者の製造現場における省力化・自動化や生産性向上を図るため、関係機関と連携し、現場課題の整理やデジタル技術活用に向けた学習、実践機会の提供等を行います。
- (6) エス・バード内工業技術試験研究所において、長野県と連携し、ISO/IEC17025に基づく認定試験等の積極的な受託、環境試験部門長の設置などにより、研究所の機能強化を支援します。
- (7) 航空機電動化・次世代空モビリティ分野のニーズ等に対応したノウハウや研究支援体制が構築された地域として、顧客アプローチなどを通じ、地域製造業の設計、開発、試作段階からの参画を促進するとともに、量産化対応に向けた取組を支援します。
- (8) 水素利活用ビジョンを踏まえてコンソーシアムを設置し、水素の利活用と地域産業への波及に関する方策について議論を重ね、関連企業の立地や地元企業の参入を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(3)	果樹・野菜等産地力強化事業	農業課	102,500	
(2)	畜産産地力強化事業	農業課	9,189	
(3)	農業振興センター事業	農業課	6,000	基本目標5小戦略①
(4)	森林づくり推進事業	林務課	76,408	
(4)	森林資源活用推進事業	林務課	58,293	基本目標5小戦略④
(5)(6)(7)(8)	新産業創出事業	工業課	33,790	基本目標4小戦略③
(8)	地域エネルギー普及事業	ゼロカーボンシティ推進課	53,197	基本目標4小戦略③
		計	339,377	

小戦略 ③	多様な主体が参画した取組によるサステナブルツーリズムの推進
(1)	関係人口の創出に向け、「いいだツーリズムビジョン」を踏まえ、地域の人・生活・文化などの飯田らしさが体験できる観光コンテンツづくりや受け皿となる観光人材の確保・育成を行い、滞在交流型観光を推進します。
(2)	天龍峡エリア、西部山麓エリアに広がる自然環境、周辺の地域資源を活用した周遊型観光やサイクルツーリズムを進めるとともに、安全・快適に楽しめる環境づくり、二次交通を含めた受入体制の強化に地域・関係団体・事業者等と協働して取り組みます。
(3)	道の駅遠山郷における広域観光案内機能の強化・充実を図るとともに、南アルプスエコ登山やしらびそ高原を中心とした星空保護区認定取得に向けた取組などの山岳高原観光を推進し、遠山郷への誘客を促進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	観光誘客推進事業	ツーリズム振興室	56,891	基本目標1 小戦略③
(1)(2)	天龍峡まちづくり支援事業	ツーリズム振興室	47,185	
(2)	観光施設管理事業	ツーリズム振興室	62,405	
(3)	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	遠山郷観光振興室	10,294	
(3)	上村観光施設管理事業	遠山郷観光振興室	140,848	
(3)	南信濃観光施設管理事業	遠山郷観光振興室	71,002	
		計	331,734	

- (1) 循環型農業の拠点である飯田市堆肥センターで製造された有機肥料の活用の促進、市田柿の皮などの地域内未利用資源を利用した飼料や資材の研究を進めます。
- (2) 環境に配慮した農業を推進する活動として、地域内農産物相互認証制度(みやまし農産物認証制度)の認証者を増やし、学校給食への導入や直売所での販売の拡大等認証農産物の地域内での流通、消費につなげる取組を行います。また、学校給食における有機米の本格導入に向け、栽培実証試験に基づく栽培マニュアルを作成し、栽培ほ場の拡大に取り組みます。
- (3) 個人住宅、多数の者が利用する民間建築物、公的施設等への市産材(認証材含む)の利用を促進するため、市産材を使用した新築又はリフォームに対する補助金を交付します。また、リニア駅周辺整備をはじめとした公共事業に市産材を積極的に活用するため、庁内及び関係機関等と協働し取組を進めます。
- (4) 主伐・再造林や搬出間伐を進めるために森林の集約化方針を定め、方針に基づいた意向調査や境界明確化による森林整備の団地化を図ります。
- (5) 地域の景観形成の推進、有害鳥獣被害防止等のため、里山・竹林保全等に取り組む地域活動に対し初期整備の実施や講師派遣等を支援します。
- (6) 地域経済の活性化、まちの賑わいづくりを目指し、商業者の活力を高めるため、空き店舗を活用する新規出店者やがんばる商業者を応援する支援制度の拡充、域産域消のきっかけをつくるマッチングイベントを実施します。
- (7) (公財)南信州・飯田産業センターのネスクイダを中心に、販路開拓による域外からの受注獲得、域内受発注の促進、地域内企業の連携による製品開発を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	地域循環型農業推進事業	農業課	20,174	基本目標3小戦略③
(3)	森林資源活用推進事業	林務課	58,293	基本目標5小戦略②
(4)	森林経営管理事業	林務課	32,187	
(5)	里山整備推進事業	林務課	14,429	基本目標5小戦略①
(6)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	43,172	基本目標1小戦略⑦ 基本目標6小戦略④⑤
(6)	にぎわい創出店舗活用事業	商業観光課	6,434	基本目標1小戦略⑦
(7)	工業振興事業	工業課	213,265	基本目標5小戦略①
		計	387,954	

小戦略

⑤

企業誘致、オフィス誘致の推進

- (1) 活力ある産業拠点の創出と雇用の場を確保するため、飯田山本インター産業団地(仮称)の整備に取り組みます。
- (2) 「まちの未来図(案)たたき台」における座光寺S I C周辺の研究開発型企業・機関等の誘致や本社機能の移転、エス・バードからリニア駅までのサステナブルオフィスゾーンの形成に向けた検討を進めます。
- (3) 補助金等の優遇制度により、脱炭素への取組を進める環境に配慮した企業の新規立地や拡張を促進するとともに、サテライトオフィス等のオフィス誘致に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	産業用地整備事業	工業課	1,005,841	
(3)	企業誘致・立地促進事業	工業課	62,218	
		計	1,068,059	

参考

デジタル技術を活用する事務事業(再掲)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
①(2)	雇用対策事業	産業振興課	
②(3)	果樹・野菜等産地力強化事業	農業課	
②(3)	農業振興センター事業	農業課	
②(4)	森林づくり推進事業	林務課	
②(5)	新産業創出事業	工業課	
③(2)	観光施設整備事業	商業観光課	
③(3)	南信濃観光施設管理事業	遠山郷観光振興室	
④(4)	森林経営管理事業	林務課	
④(6)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	

基本目標 6

誰もが生涯を通じて その人らしく暮らすまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 共に支え合い、助け合い、誰もが住み慣れた地域で暮らすことができる地域共生社会の実現を目指して、多様な主体と協働し、地域福祉を推進します。
- ◆ 福祉課題を抱えた市民の孤立を防ぐため、多様な主体が連携して問題解決を目指す仕組みを構築し、世代や属性を超えた交流の場や個々のニーズに応じた居場所を整備するとともに、アウトリーチ等を通じた支援をします。
- ◆ 研修会や広報活動等を通じて、市民の障がいに対する正しい理解を深め、障がい者が安心して地域で生活し、社会参加できるよう、差別や虐待のないまちを目指します。
- ◆ 全世代向け自身の健康維持や健康増進の取組を推奨し、年代に応じた健康づくりの取組により、生活習慣病予防や重症化予防、歯周病予防及び将来の介護予防を推進します。
- ◆ 高齢者が自分らしく充実した生活を目指し、健康づくりや介護予防、重度化防止に意欲的に取り組み、積極的に地域や社会で活躍するよう支援します。
- ◆ 医療・介護サービスの提供体制を維持するため、担い手の確保や従事者の離職防止、関係団体との連携強化に取り組めます。
- ◆ デジタル技術の活用により、市立診療所などの医療体制の充実を図ります。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 近所の人と支え合うことを実感している人の割合（％）	71.7 （令和5年）	73.0 （令和6年）			73.0
② ひきこもり家族学習会への参加促進（人）	6 （令和5年）	12 （令和6年）			10
③ 障がい福祉の理解啓発（研修会への参加者数）（人）	61 （令和5年）	40 （令和6年）			100
④ 健康寿命（歳）	男性81.55 女性84.25 （令和4年）	男性81.6 女性84.8 （令和6年）			平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
⑤ 国民健康保険加入者の特定健診受診率（％）	44.6 （令和5年）	46.6 （令和6年）			57.5
⑥ 歯科健診該当年齢受診率（％）	19.9 （令和5年 40歳受診率）	15.5 （令和6年 40歳受診率）			20.0 （20歳～60歳）
⑦ 要介護認定出現率（％）	17.85	17.92			18.81 （令和12年）
⑧ 初回要介護認定時の平均年齢（歳）	84.03 （令和5年）	84.03 （令和6年）			84.08

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	地域福祉の推進
(1)	地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、見守り支え合いの仕組みづくりや地域福祉に係る人材育成に取り組みます。
(2)	地域福祉コーディネーターが関係機関と連携し、地域の課題解決に向けた活動を支援します。
(3)	地域の身近な相談役である民生児童委員の活動を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	地域福祉推進事業	福祉課	116,479	基本目標6小戦略②
(2)	社会福祉推進事務（厚生住宅を含む）	福祉課	25,626	
(2)	避難行動要支援者支援事業	福祉課	7,806	基本目標2小戦略②
(3)	福祉委員活動事業	福祉課	49,908	
		計	199,819	

小戦略 ②	福祉まると相談窓口からつながる支援の強化
(1)	断らない「福祉まると相談窓口」で、個々が抱える課題を把握し、適切な支援につなげます。
(2)	ひきこもり家族の学習会の充実を図るとともに、アウトリーチ、伴走型支援など当事者や家族に寄り添った支援を行います。
(3)	支援が届いていない人、支援が途切れてしまっている人に支援を届け、社会資源の把握と活用を図り、個々のニーズに応じた居場所の整備に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	障害福祉推進事業	福祉課	78,640	基本目標3小戦略⑥ 基本目標6小戦略③
(1)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	185,935	基本目標6小戦略⑥
(1)(2)	生活困窮者支援事業	福祉課	35,944	
(1)(2)	地域子育て支援事業	こども課	24,110	基本目標1小戦略⑤ 基本目標3小戦略①②⑦
(1)(2)	出産子育て応援事業	保健課	95,861	基本目標3小戦略②
(1)(2)(3)	重層的支援体制整備事業	福祉課	17,878	
(1)(2)(3)	こども家庭センター事業	こども課	90,062	基本目標3小戦略①②
(2)	地域福祉推進事業	福祉課	116,479	基本目標6小戦略①
(2)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	38,457	基本目標6小戦略③
		計	683,366	

小戦略	③	障がい福祉の推進
(1)	いいだ障がい福祉プラン2024に基づき、各種啓発活動及び研修会を実施し、市民の障がいに対する正しい理解を深め、差別や偏見、障がい者虐待をなくすための取組を進めます。	
(2)	障害の程度や種類に関わらず、どこにいても障がいのない人と同じ情報を同じ場所で得られる環境の整備を進めます。	
(3)	個々の多様なニーズに応えるため、相談支援事業者への専門的指導や人材育成を推進するとともに、障がい児者の切れ目のない相談支援体制において中核的な役割を担う「基幹相談支援センター」の設置を見据え、相談体制の強化を図ります。	
(4)	医療的ケア児等コーディネーターが中心となり、医療的ケア児等実態把握調査から地域課題を洗い出し、個々の状況に合った支援につなげます。	
(5)	こども発達センターひまわりの機能を強化し、地域における障がい児支援の質の向上や障がいのあるなしに関わらず共に育ちあう環境づくりに取り組むことで、障がい児やその家族への支援を拡充します。	

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	38,457	基本目標6小戦略②
(1)(2)(3)(4)	障害福祉推進事業	福祉課	78,640	基本目標3小戦略⑥ 基本目標6小戦略②
(4)	医療的ケア児等総合支援事業	こども課(こども発達センターひまわり)	6,779	基本目標3小戦略⑥
(3)(5)	児童発達支援センター事業	こども課(こども発達センターひまわり)	97,050	基本目標3小戦略⑥
(3)(5)	広域的な地域相談支援事業	こども課(こども発達センターひまわり)	44,109	基本目標3小戦略⑥
		計	265,035	

- (1) 企業への出前健康講座、消防団員に対する健康教室、各種歯科健診事業の受診促進、健康ポイントを活用したウォーキング、朝食欠食などの課題解決を含む食育の更なる推進により、市民が健康に関心を持ち、自分に適した運動・食生活・口腔衛生習慣を理解し実践できるよう取り組みます。
- (2) 国保被保険者の生活習慣病発症と重症化を予防するため、特定健診の受診勧奨を推進し、その結果により必要な特定保健指導を実施します。
- (3) 胃がん検診について、現行の胃バリウム検査に加え、胃内視鏡検査の導入を目指し、「飯田市胃内視鏡検診運営委員会（仮称）」を設置し、検討を開始します。
- (4) がん治療に伴う外見変化を補う補整具等の購入補助のほか、骨髄等の提供者（ドナー）及びその勤務先への助成により、対象者の負担軽減を図り、併せてドナー登録制度の啓発を行います。
- (5) まちづくり委員会の健康福祉委員会等と協力し、地区の健康課題解決に向け、身近な場所で健康学習会や健康講座を開催するなど様々な事業を展開していきます。
- (6) 予防接種対象者のうち、希望する方に接種を実施するとともに、接種機会を安定的に確保するため、対象者に対する接種勧奨と制度周知を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	市民の健康づくり事業	保健課	11,103	
(1)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	43,172	基本目標1 小戦略⑦ 基本目標5 小戦略④ 基本目標6 小戦略⑤
(2)	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業	保健課	65,522	
(3)	がん検診等事業	保健課	90,211	
(4)	がん治療助成事業	保健課	1,306	
(5)	健康福祉委員等活動事業	保健課	2,787	
(6)	予防接種事業	保健課	354,206	
		計	568,307	

小戦略 ⑤	介護予防の意識醸成
(1)	市民の誰もが参加することができる健康ポイントを活用したウォーキング事業を推進し、継続的にフレイル予防に取り組む市民の増加を図るとともに、高齢者がフレイル予防を実践する意欲を高められる取組を推進します。また、「フレイル予防ポイント事業」により、介護予防に関するボランティア等の活動を支援し、地域で主体となって介護予防に取り組む人材の育成を図ります。
(2)	フレイル予防教室の実施や後期高齢者健診の受診勧奨により、健診受診率を向上させるなど高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組を強化します。また、疾病予防、重症化予防及び介護予防の切れ目ない支援により、高齢者の心身機能低下の抑制を図ります。
(3)	事業対象者、要支援認定者に通所及び訪問サービスを提供することにより、介護予防、重度化防止を推進し、在宅生活の継続を目指します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域介護予防活動支援事業	長寿支援課	1,953	
(1)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	43,172	基本目標1 小戦略⑦ 基本目標5 小戦略④ 基本目標6 小戦略④
(1)(2)	一般介護予防事業	長寿支援課	2,762	
(2)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	保健課	38,587	
(2)	高齢者健康づくり事業	保健課	9,532	
(2)(3)	介護予防・生活支援サービス事業	長寿支援課	306,447	
		計	402,453	

小戦略 ⑥	地域における高齢者の支援体制の整備
(1)	7つの日常生活圏域全てに配置した地域包括支援センターを拠点として、医療、介護等の関係機関と連携し、高齢者の地域包括ケアを推進します。
(2)	生活支援コーディネーターが、地域の実情に応じて「通いの場」の支援や介護予防の体制整備を推進するとともに、高齢者が活躍する地域づくりに取り組みます。
(3)	身寄りのない高齢者等が安心して歳を重ねることができる地域を目指し、高齢者が自身の生活上の課題に向き合い、「自分らしい終活」を考える取組を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	185,935	基本目標6 小戦略②
		計	185,935	

小戦略 ⑦	地域医療への支援
(1)	飯伊医療圏の医療体制の調整を担う飯伊地区包括医療協議会の運営を支援し、地域の医師確保や救急医療体制を維持します。
(2)	飯田市休日夜間急患診療所の運営や在宅当番医制・病院群輪番制による飯伊医療圏の休日・夜間の医療体制を確保するとともに、救急医療を担う市内の医療機関や新規又は承継により開設する診療所を支援します。
(3)	千代・三穂・上村・南信濃の各診療所及び上村歯科診療所を運営することにより、地域における医療提供体制を維持継続します。
(4)	地域の医療機関と市立病院との密接な連携により、地域医療体制を維持します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	保健衛生推進事業	保健課	4,782	
(2)	地域医療支援事業	保健課	246,484	
(3)	診療所運営事業	保健課	95,256	
(3)	国民健康保険直営診療所運営事業	保健課	44,900	
(4)	市立病院運営事業	市立病院事務局 経営企画課	19,397,700	基本目標3小戦略②
		計	19,789,122	

小戦略 ⑧	介護人材確保に向けた支援
(1)	介護人材の現状、今後の課題や意向等を把握するため、介護事業所を対象に介護人材に関する調査を実施します。その調査結果を基に、介護保険事業計画における介護人材確保の取組を位置づけ、人材確保の支援を進めます。
(2)	介護事業所における新たな職員の確保や離職防止に寄与できるよう、就労環境の改善や職員確保につながる補助、雇用につながる機会の創出等多様な介護人材確保のための側面的支援に継続して取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	介護人材確保対策事業	長寿支援課	6,970	
		計	6,970	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
① (2)	避難行動要支援者支援事業	福祉課	
③ (1)	障害福祉推進事業	福祉課	
④ (1)	市民の健康づくり事業	保健課	
⑤ (1)	地域介護予防活動支援事業	長寿支援課	
⑦ (5)	市立病院運営事業	市立病院事務局 経営企画課	

基本目標 7

リニア・三遠南信道時代に向けた まちの基盤をつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えた土地利用や景観のあり方を全市的な視点で検討を行うため、まずはリニア駅周辺及びその近郊における喫緊の課題から検討、見直しに取り組みます。
- ◆ リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすため、関連道路等の整備による広域的道路ネットワークの強化を図るとともに、リニア開業の遅延に関わらず選ばれ訪れたいような地域の形成を目指した拠点間道路ネットワークの整備を推進します。
- ◆ リニア駅前広場の賑わいをつくり、一部供用に向けて運営方法の検討を行うなど段階的な活用を目指し、関係機関との調整を図ります。また、関係者等の意向や環境影響に十分配慮しながらグリーンインフラの考え方を取り入れ、自然と調和した利便性の高いリニア駅前広場の整備を進めます。
- ◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通に向けた機運醸成を図るため、市民への適時適切な情報を発信します。
- ◆ 次世代モビリティやデジタル技術を活用し、目的地へ円滑にいざなうことができるリニアからの二次交通の検討を進めるとともに、路線ごとの利用特性やニーズの把握を行い利用者が使いやすい持続可能な地域公共交通の構築に取り組みます。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① リニア駅前広場整備の整備率（整備可能部分）（％）	21 （令和5年）	44 （令和6年）			100
② 座光寺SIC関連道路の整備率（％）	88	91			100
③ 公共交通利用者数（人）	310,887 （令和5年）	326,603 （令和6年）			288,000
④ 住民へのリニア中央新幹線に関する情報発信回数（説明会・広報等）（回）	42 （令和5年）	44 （令和6年）			45

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し
(1)	土地利用基本方針に掲げる拠点集約連携型都市構造の推進と山・里・街の豊かで多様な暮らしの実現に向けて、全市的な視点で土地利用や景観の誘導策等の検討に取り組みます。また、リニア駅周辺及びその近郊における土地利用のあり方の検討を行うとともに、専門家を交えた「リニア駅周辺デザイン検討会」を組織し、良好な景観の保全と適正な開発の誘導の両方の視点から景観計画の見直しに向け検討を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	都市計画推進事業	地域計画課	19,836	
(1)	土地利用計画推進事業	地域計画課	7,815	
(1)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,069,834	基本目標 7 小戦略②③④
		計	1,097,485	

小戦略 ②	広域的道路ネットワークの強化及び拠点間道路ネットワークの整備推進
(1)	市全域及び南信州地域全体の広域的道路ネットワークの強化の観点から、三遠南信自動車道をはじめとする国道や県道の早期整備に向けた要望活動を同盟会等を通じて実施します。
(2)	リニア開業や三遠南信自動車道の開通を見据えた観光、産業立地選択や居住地選択において選ばれ訪れたいとなるような地域の形成を目指し、拠点間の道路ネットワーク及びリニア駅・座光寺 S I C 周辺の道路整備を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	道路事業促進同盟会参画事業	国県関連事業課	3,637	基本目標 7 小戦略④
(2)	国県関連事業	国県関連事業課	344,450	
(2)	道路ネットワーク整備事業	土木課	745,018	基本目標 1 小戦略⑦
(2)	リニア関連道路整備事業	国県関連事業課	91,661	
(2)	リニア推進事業	リニア推進課	35,617	基本目標 7 小戦略③④
(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,069,834	基本目標 7 小戦略①③④
		計	2,198,556	

小戦略 ③	リニア駅前広場の一部供用に向けた整備推進
(1)	リニア駅前広場整備工事において、関係機関との調整を行い、地域住民の生活環境への影響等に配慮し、一部供用に向けて、広場や駐車場の工事を進めます。
(2)	リニア駅前広場の効果的な活用に向け、民間等多くの関係者の考えや知見等を反映・活用しながら、リニア開業までの活用方法や維持管理等も含めた検討を進め、一部供用を目指します。また、リニア開業に向けた「エネルギー」「魅力発信」等の分野でも具体的な機能の実装に向けた検討を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,069,834	基本目標7小戦略①②④
(1)	リニア用地取得事業	リニア用地課	106,240	
(1)	リニア推進事業	リニア推進課	35,617	基本目標7小戦略②④
		計	1,211,691	

小戦略 ④	リニア・三遠南信道に対する機運醸成を図るための市民への情報発信
(1)	リニア駅前広場の一部供用に向けて駅前広場の整備や利活用の検討状況をはじめ、リニア本線事業や関連道路事業についても、適時的確に多様な手法で情報発信を行い機運醸成を図ります。また、三遠南信自動車道の進捗状況については、事業主体である飯田国道事務所からの情報提供を活用し、市ウェブサイトでの情報発信に努めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	リニア推進事業	リニア推進課	35,617	基本目標7小戦略②③
(1)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,069,834	基本目標7小戦略①②③
(1)	道路事業促進同盟会参画事業	国県関連事業課	3,637	基本目標7小戦略②
		計	1,109,088	

小戦略 ⑤	持続可能な地域公共交通の構築と次世代モビリティやリニア二次交通の検討
(1)	住民の日常生活に欠かせない移動手段である地域公共交通の利用者確保に向け、利用のニーズを把握し、交通事業者と協議を行いながら、利便性向上のための改善に取り組むとともに、運転免許証自主返納者への支援を行う実証実験に取り組みます。
(2)	自動運転などの次世代モビリティの地域公共交通への実装を見据えつつ、リニア駅への往来者にとって利便性の高い二次交通の実現に向けて、他市事例等の情報収集などに関係機関と連携し取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	交通体系整備事業	リニア推進課	219,288	
		計	219,288	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
③ (1)(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	